

Pioneer

取扱説明書

7V型ワイドVGAモニター/Bluetooth/DVD-V/VCD/CD/USB/チューナー-DSPメインユニット

FH-9300DVS

ご購入いただきありがとうございます

- ▶ ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
- ▶ 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

■お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。
登録は弊社ホームページ「オーナーズリンク」にて可能です。以下URLにアクセスして登録を行ってください。
<https://car-users.pioneer.jp/>

なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。
弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をさせていただいたお客様にいたします。
必ず登録をしていただきますようお願いいたします。



DIVX



Made for



Apple iPhone | iPod

carrozzeria




安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意(警告を含む)しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止(やってはいけないこと)の内容です。	

HN-002-002

接続・取り付け

警告



禁止

本機は、DC12V \ominus アース車専用です。24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。



禁止

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの \ominus 端子を外す
 \oplus と \ominus 経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。



強制

説明書に従って接続・取り付けする
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、
火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープ
などで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因と
なります。

車体やネジ部分、シートレールな
どの可動部にコードを挟み込まな
いよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の
原因となります。

コード類は運転操作の妨げとなら
ないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダ
ルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電
装品が元通り正常に動作するか確
認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や
感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の
手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相
談してください。



禁止

分岐配線をしない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因とな
ることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこ
り、油煙などが混入するところ
には取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように
配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災
や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後
からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因と
なることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込
む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因
となることがあります。

使用方法



警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となりま
す。必ず安全な場所に停車してから操作し
てください。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だ
けを見ながらの後退運転はしない

バックカメラの映像は広角レンズを使用し
ています。実際の距離と感覚が異なるので、
人や物にぶつかる恐れがあります。また、必
ず目視による安全確認を行いながら後退し
てください。カメラの死角になっている人
や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の
原因となります。

メディア挿入口に手や指、異物を
入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特に
お子様のいるご家庭ではご注意ください。

リモコンなどを放置しない

停車した時やカーブを曲がるときに、リモコ
ンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルな
どの下に入り込むと運転の妨げになり、交通
事故の原因となります。



注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接
当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因とな
ることがあります。

アンテナやモニターを不安定なと
ころに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因とな
ることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合が
あるため、保護回路が動かなくなり、火災の
原因となることがあります。

コード類の配線は、車体の高温部
に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッ
テリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。
電流が不足して、バッテリーから直接電源を
取る場合は、専用の配線キットを使用してく
ださい。



禁止

画面が映らない、音が出ない、音声
が割れる、歪むなどの異常・故障
状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコード
や本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションによるルート案内のみに
従って走行すると、実際の交通規制に反する
場合があり、交通事故の原因となります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブ
レーキをかける

テレビやビデオは、安全のため走行中は表示
されません。

ヒューズを交換するときは、必ず
規定容量(アンペア)のヒューズを
使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火
災や故障の原因となります。



注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となることが
あります。

アンプの放熱部に手を触れない
やけどの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度
で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交
通事故の原因となることがあります。

リモコンは、直射日光・高温・多
湿の場所を避けて保管する

ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原因
となることがあります。



指のケガに
注意

モニターの収納や角度調整時に手
や指を挟まれないように注意する

ケガの原因となることがあります。

電池は正しく使う



警告



強制

事故防止のため、電池は幼児の手
の届かない場所に保管する

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに
医師の治療を受けてください。

電池の極性(⊕、⊖)に注意し、表
示通りに入れる

電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなど
により、ケガや周囲を汚染する原因となること
があります。

電池の液漏れが発生した場合は

皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗
い流してください。目に入った時は、きれい
な水で洗ったあと、ただちに医師にご相談く
ださい。



注意



禁止

電池をショートさせたり、分解・加
熱をしたり、火や水の中に入れて
ない電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原
因となることがあります。

乾電池は充電しない

電池の破裂により、ケガの原因となることが
あります。

指定以外の電池の使用や、新しい電
池と古い電池を混ぜて使用しない

電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚
染する原因となることがあります。



強制

使いきった電池はすぐに交換する
液漏れにより、周囲を汚染する原因となること
があります。

異常時の問い合わせ



警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに
使用を中止し、必ず販売店かサー
ビス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感
電の原因となります。

目次

はじめに..... 8

本機の特徴.....	8
安全走行のために.....	8
バッテリー上がりを防ぐために.....	8
本書について.....	8

共通操作..... 9

各部の名称とはたらき.....	9
本体.....	9
リモコン.....	10
リモコンに電池を入れる.....	10
本機の電源について.....	11
Power OFF モードについて.....	11
デモモードについて.....	11
はじめて本体を使用する際の設定.....	11
スピーカーモード設定を変更する.....	11
ホーム画面について.....	12
AVソース選択画面.....	13
AV ソース操作画面.....	13
AV ソースを並び換える.....	13
設定メニュー画面.....	14
共通のタッチキー.....	14
ソースをオン/オフ.....	14
ソースをオンにする.....	14
ソースを切り換える (ソースリスト).....	14
ソースをオフにする.....	14
ディスクの出し入れ.....	15
ディスクの入れかた.....	15
ディスクの取り出しかた.....	15
モニターの角度を調整する.....	15
時計の設定.....	15

基本操作..... 16

FMラジオ / AMラジオ.....	16
CD.....	16
DVDビデオ.....	16
DVD-VR、ビデオCD、その他の動画ファイル.....	17
その他の音楽ファイル、JPEG.....	18
iPod.....	19
AUX、AV.....	20
外部機器の接続.....	20

各ソースの機能詳細説明 21

バンドを切り換える Radio	21
放送局を選ぶ Radio	21

マニュアル選局.....	21
プリセット選局.....	21
受信状態の良い放送局を自動で登録する Radio	21
プリセットチャンネルを登録する Radio	21
交通情報を受信する (TI) Radio	22
見たい (聞きたい) 場所を指定して再生する Disc	22
ワイド画面の拡大方法を切り換える Disc USB AUX AV	22
コマ送り / スロー再生する Disc USB	23
コマ送り再生.....	23
スロー再生.....	23
DVDディスクのディスクメニューを操作する Disc	23
ディスクメニュー用タッチキーを使った操作.....	23
DVDメニューダイレクトタッチ機能を使った操作.....	23
再生中に音声を切り換える Disc USB	23
再生中に字幕を切り換える Disc USB	24
音声の出力方法を切り換える Disc	24
再生中にアングルを切り換える Disc	24
リピート再生する Disc USB/iPod	24
再生するデータの範囲を切り換える Disc USB	25
ブックマークを登録する Disc	25
リストから選んで再生する Disc USB	25
ランダム再生する Disc USB	26
画像を壁紙に設定する USB	26
カテゴリを選んで曲をさがす USB	26
関連した曲を探す USB/iPod	27
曲を探す iPod	27

Bluetooth Audio操作 28

Bluetooth Audio設定.....	28
Bluetooth Audio機器の登録.....	28
Bluetooth Audio機器を再生する.....	29
リストから選んで再生する.....	29
Bluetooth Audio機器の接続について.....	30
接続する Bluetooth Audio 機器を切り換える.....	30
一時的に接続が切断された場合.....	30
Bluetooth Audio 機器が自動的に接続されない場合.....	30

便利な機能..... 31

バックカメラを使う.....	31
リアモニターを使う.....	31
リアモニターの設置場所について.....	31
タッチパネルの誤差を補正する.....	31
カスタムメニューを使う.....	32
登録する.....	32
登録したメニューを使う.....	32

ハンズフリー通話 32

Phoneメニューを表示する.....	32
操作する電話機を切り換える.....	33
ハンズフリーエコー（残響音）が気になるときは.....	33
電話の受けかた.....	33
電話のかけかた.....	33
電話番号を入力して電話をかける.....	33
発着信履歴から電話をかける.....	33
電話帳から電話をかける.....	34
プリセットダイヤルから電話をかける.....	34
自動応答設定をする.....	34
着信音の出力設定をする.....	34
姓名の順序を入れ替える.....	35
通話中メニューの操作.....	35
2 台同時接続時の着信と受話.....	35
音声認識機能を使う.....	35
2 台同時接続時の音声認識操作.....	36

Apple CarPlay操作..... 36

iPhoneを接続する.....	36
音量調節.....	36

Android Auto™操作 37

Android™端末を接続する.....	37
音量調節.....	37

ビデオ設定..... 37

ビデオ設定メニューを表示する.....	37
字幕言語 / 音声言語 / メニュー言語を設定する.....	38
マルチアングルマークの表示 / 非表示を切り換える.....	38
テレビアスペクトを設定する.....	38
視聴制限（パレンタルロック）を設定する.....	38
オートプレイを設定する.....	39
スライドショーの表示間隔時間を設定する.....	39
映像信号を設定する.....	39

オーディオ設定 40

オーディオ設定メニューを表示する.....	40
グラフィックイコライザーを使う.....	40
前後左右の音量バランスを調節する.....	41
各ソースの音量をそろえる.....	41
サブウーファースのオン / オフを設定する.....	41
スピーカーの出力レベルを調整する.....	41
カットオフ周波数、スロープを設定する.....	42
リスニングポジションを選ぶ.....	42
タイムアライメントを調整する.....	43
低い音を強調する.....	43
音場を設定する（VSCプリセット）.....	43
リアスピーカー出力を設定する.....	44
小さな音を聞きやすくする.....	44
オートレベルコントロールを使う.....	44
サウンドレトリバーを切り換える.....	44
オーディオ設定を保存する.....	44

保存したオーディオ設定を読み出す.....	44
-----------------------	----

システム設定 45

システム設定メニューを表示する.....	45
MIXTRAX の設定をする.....	45
効果音をプリセット登録する.....	46
ラジオの放送局名を選ぶ.....	47
操作音を設定する.....	47
USB MTP を設定する.....	47
AV 入力を設定する.....	47
AUX 入力を設定する.....	47
バックカメラの入力を設定する.....	47
バックカメラの極性を設定する.....	47
駐車アシスト線の表示を設定する.....	47
駐車アシスト線を調整する.....	48
デモモードを設定する.....	48
ステアリングリモコン設定.....	48
設定の初期化.....	48
ボタンのイルミネーションとディスプレイの明るさを調節する.....	49
運転席の位置を設定する.....	49
自動起動機能を設定する.....	49
画像の画質を調整する.....	49
ソフトウェアのバージョンを調べる.....	50
ソフトウェアを更新する.....	50

Bluetooth設定..... 50

本機と接続可能な機器について.....	50
Bluetooth 接続できないときは.....	50
Bluetooth設定メニューを表示する.....	51
Bluetooth機器を登録する.....	51
登録した機器を削除する.....	51
登録済み機器に接続する.....	52
2 台の機器を HFP 接続中のときの Bluetooth Audio 機器の接続.....	52
接続を切断する.....	52
その他の設定.....	52
接続する Bluetooth Audio 機器を切り換える.....	52
自動接続を設定する.....	52
自機検出を設定する.....	52
パスキーを設定する.....	52
自機情報を表示する.....	53
Bluetooth のメモリーをクリアする.....	53

デザイン設定 53

デザイン設定メニューを表示する.....	53
ボタンのイルミネーションを設定する.....	53
画面の色を変更する.....	54
壁紙を設定する.....	54
時計のデザインを設定する.....	54

接続・取り付け 54

接続・取り付け上のご注意.....	54
接続・取り付け部品を確認する.....	54
本体関係.....	54

コード関係.....	54	ディスクについて.....	75
取り付けの前に知ってほしいこと.....	55	取り扱い上のご注意.....	75
取り付け上のご注意.....	55	お手入れについて.....	75
取り付けのポイント.....	55	保管上のご注意.....	75
接続の前に知ってほしいこと.....	55	ディスク再生の環境について.....	75
接続上のご注意.....	55	使用できないディスクについて.....	75
接続のポイント.....	55	再生できないディスクについて.....	75
コネクタ着脱のポイント.....	56	DVD に表示されているマークの意味.....	75
ハンズフリー通話用マイクの取り付け.....	56	DVD-VR について.....	76
取り付け上のご注意.....	56	USB機器について.....	76
サンバイザーにははさんで取り付ける場合.....	56	本機との接続について.....	76
ステアリングポストに取り付ける場合.....	57	保管上のご注意.....	76
マイク角度の調節のしかた.....	57	iPodについて.....	76
システムの接続 (1).....	58	本機が対応する iPod.....	76
システムの接続 (2).....	60	iPod の設定について.....	77
外部アンプの接続.....	62	液晶画面の正しい使いかた.....	77
リアスピーカー出力にサブウーファーを		取り扱い上のご注意.....	77
接続する①.....	64	液晶画面について.....	77
リアスピーカー出力にサブウーファーを		LED バックライトについて.....	77
接続する②.....	65	お手入れについて.....	77
外部映像機器・リアモニターの接続.....	66	電波に関するご注意.....	77
iPhone・iPod・スマートフォンの接続.....	67	言語コード.....	78
iPhone 7 Plus/iPhone 7/iPhone SE/iPhone 6		故障かな?と思ったら.....	79
Plus/iPhone 6/iPhone 5s/iPhone 5c/iPhone 5/		共通項目.....	79
iPod (第 5 世代 iPod touch/ 第 7 世代 iPod nano)		ラジオ.....	80
を接続する場合.....	67	DVD.....	80
iPhone 4s、iPod (第 5 世代 iPod touch/ 第 7 世代		ビデオ CD.....	81
iPod nano を除く) を接続する場合.....	67	CD.....	81
Android 端末を接続する場合.....	68	USB.....	81
		iPod.....	82
		Bluetooth.....	82
		こんなメッセージが表示されたら.....	82
本体を取り付ける..... 69		共通項目.....	82
動作を確認する.....	69	ディスク.....	82
		USB 機器.....	83
付録..... 70		iPod.....	84
再生可能なメディアとファイルについて.....	70	保証書とアフターサービス.....	85
共通.....	70	保証書.....	85
MP3.....	70	保証期間.....	85
WMA.....	70	修理について.....	85
WAV.....	71	補修用性能部品の最低保有期間.....	85
AAC.....	71	ご質問、ご相談は.....	85
FLAC.....	71	商標・著作権など.....	85
JPEG.....	71	用語解説.....	87
MPEG-4.....	71	仕様.....	88
MPEG-2.....	71		
MPEG-1.....	72		
Divx.....	72		
H.264.....	72		
H.263.....	72		
VC-1.....	72		
PNG.....	72		
BMP.....	72		
メディア内のフォルダー構成について.....	73		
JPEG ファイルについて.....	74		
FLAC について.....	74		

はじめに

本機の特徴

タッチパネル操作対応

ディスプレイ部は、タッチパネル操作に対応しています。直感的な操作を実現できます。

DVD ビデオ再生対応

DVD ビデオの再生に対応しています。市販の DVD ビデオだけでなく、ビデオモードおよびビデオレコーディングフォーマット (VR モード) で録画された DVD-R/RW の再生にも対応しています。

DVD メニューダイレクトタッチ対応

DVD ディスクを挿入したときに表示されるメニューの操作を、タッチ操作で行えます。希望の項目にタッチするだけで操作が可能です (→ P23)。

- DVD ディスクによっては、ダイレクトタッチ操作に対応していないものもあります。

ビデオ CD 再生対応

ビデオ CD の再生に対応しています。

DVD-VR 再生対応

ビデオレコーディングフォーマット (VR モード) で記録された DVD-R DL (デュアルレイヤー) ディスクの再生に対応しています。

- レイヤージャンプモードで記録されたディスクの再生には対応していません。

音楽ファイル再生対応

以下のような様々な音楽ファイルを再生できます。

詳しいファイル対応については「再生可能なメディアとファイルについて」(→ P70) をご覧ください。

動画ファイル再生対応

以下のような様々な動画ファイルを再生できます。

詳しいファイル対応については「再生可能なメディアとファイルについて」(→ P70) をご覧ください。

JPEG ファイル再生対応

USB メディアに記録された JPEG 画像の再生に対応しています。

USB 機器の接続

USB 機器の接続は MSC (Mass Storage Class)、Android 端末の MTP (Media Transfer Protocol) に対応しています。対応する USB 機器や接続時のご注意については「USB 機器について」(→ P76) をご覧ください。

- 本書では便宜上 Mass Storage Class で接続されている USB メモリーなどを USB メディアと表記し、MTP 接続も含めて特に制限しない場合は USB 機器と表記しています。

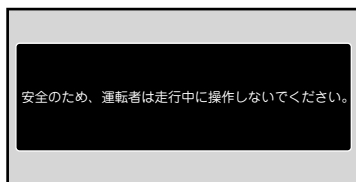
iPod の接続

iPod を本機の USB ポートに接続して操作できます。本機からの操作はもちろん、iPod からの操作も可能です。対応する iPod や接続時のご注意については、P67 をご覧ください。

- 本書では便宜上、iPod、iPhone を iPod と表記しています。

安全走行のために

パーキングブレーキの ON/OFF を検知しており、走行中に映像を見ることができないようになっています。(走行中は次のようなメッセージが表示されます。)



メッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけると解除されます。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

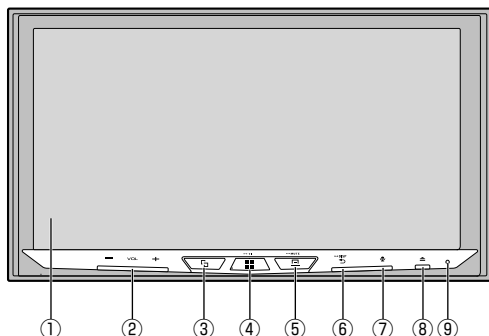
本書について

本書に掲載している画面は、実際の画面と異なる場合があります。

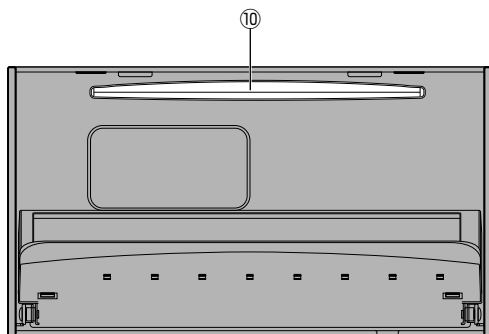
各部の名称とはたらき

■ 本体

FH-9300DVS (モニターを閉じている状態)



FH-9300DVS (モニターを開いている状態)



① 画面

液晶画面です。

② 【+/- VOL (音量)】 ボタン

音量を調節します。

③ 【 (MODE)】 ボタン

ホーム画面と Apple CarPlay/Android Auto 画面を切り換えます。

④ 【 (ホーム) /TI】 ボタン

ホーム画面を表示します。(→ P12)

長く押し、交通情報を受信します。もう一度長く押し、交通情報を受信する前の状態に戻ります。(→ P22)

⑤ 【 (MENU) /MUTE】 ボタン

メニューバーを表示します。

長く押し、本機の音声をミュート(消音)します。もう一度長く押し、ミュートを解除します。

⑥ 【 (戻る) /DISP】 ボタン

ホーム画面または一つ前の画面に戻ります。

長く押し、液晶画面を非表示にします。もう一度押し、表示します(画面をタッチしても表示できません)。

⑦ 【 (VR)】 ボタン

iPhone が Bluetooth または USB 経由でユニットに接続されているときに押し、Siri などの音声認識モードが有効になります。

⑧ 【 (イジェクト)】 ボタン (→ P15)

ディスクを取り出したいときやモニターの角度を調整したいときに押します。長く押しとディスクを取り出せます。

⑨ リセットボタン

先の尖ったもので押し、一部の設定が消去されます。

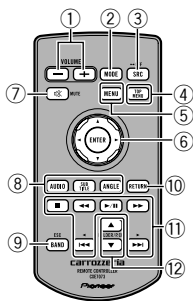


・本機の表示や動作がおかしくなった際などに押してください。

⑩ ディスク挿入口 (→ P15)

ディスクを挿入します。

■ リモコン



- ① **【+/- VOLUME (音量) ボタン**
音量を調節します。
- ② **【MODE】 ボタン**
ホーム画面と Apple CarPlay/Android Auto 画面を切り換えます。
- ③ **【SRC (ソース) ボタン**
AV ソースを切り換えます。長く押しと、AV ソースを OFF にします。
- ④ **【TOP MENU (トップメニュー) ボタン**
DVD のトップメニューを表示します。
- ⑤ **【MENU (メニュー) ボタン**
DVD のディスクメニューを表示します。
- ⑥ **サムパッド**
希望の項目を選択したり、選択項目を実行したりします。
- ⑦ **【MUTE (消音) ボタン**
本機の音声をミュート (消音) します。
- ⑧ **【AUDIO (音声) ボタン**
動画に収録されている音声言語を切り換えます。
【SUBTITLE (字幕) ボタン
動画に収録されている字幕言語を切り換えます。
【ANGLE (アングル) ボタン
DVD のアングルを切り換えます。
- ⑨ **【BAND】 ボタン**
ラジオのバンドを切り換えます。
- ⑩ **【RETURN】 ボタン**
一つ前の画面に戻ります。
- ⑪ **【▶/⏸ (再生 / 一時停止) ボタン**
【■ (停止) ボタン
【◀/▶ (早戻し / 早送り) ボタン
【⏮/⏭ (スキップ) ボタン
- ⑫ **【▲/▼ (上 / 下) ボタン**

■ リモコンに電池を入れる

⚠ 警告

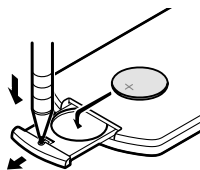
- 電池を飲み込まないでください。化学的反応による傷害の危険があります。この製品 (この製品に付属するリモートコントロール装置) は、コイン / ボタン形電池を含んでいます。コイン / ボタン形電池を飲み込むと、2 時間足らずで重大な体内損傷を引き起こし、死に至ることがあります。
- 新しい電池及び使用済みの電池は、子供の手の届かないところに保管してください。
- 電池収納部がしっかりと閉まらない場合、製品の使用を中止し、子供の手の届かないところに保管してください。
- 電池を飲み込んでしまった、または電池を飲み込んだ疑いがある場合、ただちに医師の診断を受けてください。

初めてお使いになるときは、電池ホルダーから出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。

リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

電池を交換する

リモコンを裏返し、電池ホルダーを取り出して、リチウム電池 (CR2025) を ⊕ 側を上にしてセットします。



✎ リモコンの取り扱い上のご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本体に直射日光が当たっていると、リモコンを操作できないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- 付属の電池は、日光や火気など過度の熱が当たる場所に置かないでください。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付いた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。

本機の電源について

本機に電源ボタンはありません。車のエンジンスイッチを ON (ACC を ON) にすると自動的に電源が入り、エンジンスイッチを OFF にすると切れます。

■ Power OFF モードについて

ソースの選択画面で Power OFF を選ぶと、ほぼすべての機能を停止させます。本体ボタンのいずれかを押しと Power OFF モードは解除されます。以下の操作によっても解除されます。

- ・ Bluetooth 接続中の電話機に着信したとき。
- ・ 車のシフトレバーを (R) にしてバックカメラを表示させたとき。
- ・ 本機の電源を入れ直したとき。(ACC OFF から ON にしたとき。)

■ デモモードについて

デモモードは、本機がソース OFF のときに、各ソースや本機の機能を表示する機能です。デモを表示しないようにするには、設定を OFF にします (→ P48)。



- ・ 赤リード線 (アクセサリ電源) は、常に車のバッテリーから電源を供給する電源回路には接続しないでください (→ P58)。車のエンジンスイッチを OFF にしても本機の電源が OFF にならず、デモが表示され、バッテリー上がりの原因となります。
- ・ 車のエンジンを止めた状態で、デモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。
- ・ 運転中のデモモードは、前方不注意などの原因となる場合があります。運転中はデモモードを解除するか、設定を OFF にしてください。

接続方法については、P58,62 を参照してください。

3 [OK] にタッチする

免責画面が表示されます。

4 [OK] にタッチする

ホーム画面が表示されます (→ P12)。

スピーカーモード設定を変更する

スピーカーモード設定をセットした後は、工場出荷時の状態に戻さないと変更することはできません。変更する場合は [設定初期化] を実施してください (→ P48)。

1 設定初期化を実施する

スピーカーモード設定をセットした後、実際の車のスピーカー構成などを変更してスピーカーモードを変更する必要が生じたときは初期化を実施して最初からやり直してください。

はじめて本体を使用する際の設定

1 エンジンスイッチを ON にする


起動画面が数秒間表示され、初期起動時の設定画面が表示されます。

2 スピーカーモードを設定する


車の現在のスピーカー配置と接続方法に合わせてスピーカーモードを選択します。

[スタンダードモード]	フロント・リアの 4 スピーカーシステム、またはフロント・リア・サブウーファアの 6 スピーカーシステムを構築することができます。
[ネットワークモード]	高・中・低音域のそれぞれの音域 (バンド) を専用のアンプとスピーカーで再生する 3-way マルチアンプ・マルチスピーカーシステムを構築することができます。

ホーム画面について

【 (ホーム)】 ボタンを押すとホーム画面が表示されます。この画面から様々な画面にアクセスすることができます。

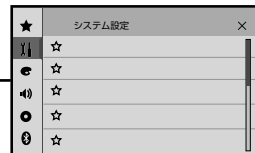
項目を決定するには画面に表示されるタッチキーにタッチします。

-  掲載画面は一例です。実際の表示とは異なる場合があります。

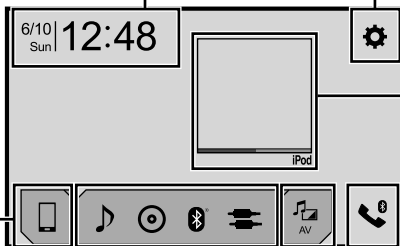
時計設定画面



各種設定画面



ホーム画面



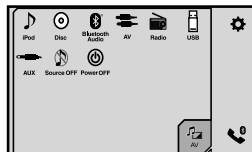
AV ソース操作画面



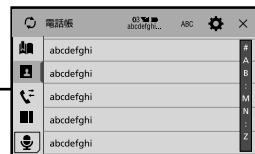
Apple CarPlay/
Android Auto 画面

よく使用するソースの
アイコンが表示されます。

AV ソース選択画面



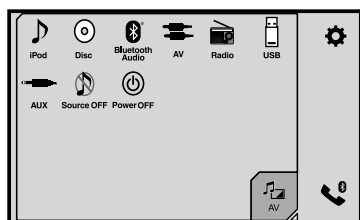
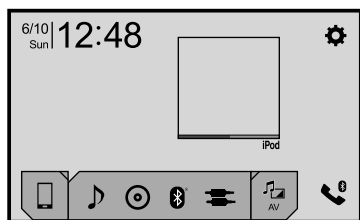
Phone メニュー画面





AV ソース選択画面

再生する音源（ソース）を選択する画面を表示します。

1 ホーム画面（→P12）の にタッチする



2 ソースを選んでタッチする

[]	FM/AM ラジオにする（→P16）
[]	内蔵ディスクドライブにする（→P16,17,18）
[]	USB 機器にする*（→P17,18,19）
[]	iPod にする（→P19）
[]	Bluetooth Audio にする（→P28）
[]	AUX(AUX 入力端子に繋いだソース) にする（→P20）
[]	AV(AV 入力端子に繋いだソース) にする（→P20）
[]	ソースを OFF にする（→P14）
[]	本機の電源を OFF にする

※：MTP 接続をしている場合は、「USB MTP」と表示されます。



- ディスクがセットされていないときは、Disc ソースの選択はできません。
- システム設定メニュー（→P45）の AUX 入力設定または AV 入力設定が「オン」に設定されているときだけ、AUX ソース / AV ソースを選ぶことができます。

- USB/iPod の表示は、USB 入力端子への機器の接続状態によって表示が変わります。
- Android 端末などを USB-MTP 接続する場合は、端末のロックを解除して接続してください。

■ AV ソース操作画面





(例：iPod)



タイムバー

ドラッグ操作で再生ポイントを変更

AV ソース操作画面で表示される共通のタッチキーには以下のものがあります。

[]	AV ソース選択タッチキーを表示（→P14）
[ 6/10 Sun 12:48]	時計設定画面に切り換える（→P15）
[]	メニュー設定画面を表示
[]	イコライザーカーブを切り換える オーディオ設定メニューで設定したカーブが反映（→P40）

■ AV ソースを並び換える

ソースはお好みの順番で並び換えることができます。

1 AVソース選択画面を表示する（→P13）


2 AVソースのアイコンにタッチしたまま、ドラッグする

移動させたい位置までドラッグします。



- ソースリスト上で並び換えることもできます。（→P14）
- AV ソースのアイコンを長く押しと、アイコンの表示領域を調整することができます。







設定メニュー画面

1 ホーム画面 (→P12) の[]にタッチする

2 設定項目を選んでタッチする





スクロールバー
スクロールポイントを表示
ドラッグ操作でスクロール

[]	カスタムメニューを表示 (→ P32)
[]	システム設定メニューを表示 (→ P45)
[]	デザイン設定メニューを表示 (→ P53)
[]	オーディオ設定メニューを表示 (→ P40)
[]	ビデオ設定メニューを表示 (→ P37)
[]	Bluetooth 設定メニューを表示 (→ P50)

共通のタッチキー

設定画面などで表示される、すべての操作に共通のタッチキーです。

[]	画面を閉じる
[]	前の画面に戻る

ソースをオン/オフ

エンジンスイッチを ON にすると、前回使用していたソースがオンになります。

前回ソースがオフの状態では、エンジンスイッチを OFF にした場合、再びエンジンスイッチを ON にすると、ソースはオフのままとなります。

■ ソースをオンにする

ソースをオンにするには、以下の操作を行います。

1 AVソース選択画面を表示する (→P13)

2 ソースを選んでタッチする

選んだソースがオンになります。

• ソースによっては、時間が経過するとタッチキーが画面から消える場合があります。再度タッチキーを表示するには、画面にタッチしてください。

ソースをオンにする他の方法

- ・リモコンの SRC ボタンを押す。
- ・ホーム画面下部のよく使用するソースのアイコンにタッチする。

■ ソースを切り換える (ソースリスト)


1 各ソース画面で、[] にタッチする
ソース選択タッチキーが表示されます。


• 現在選択できないソースの、ソース選択タッチキーは表示されません。

2 ソースを選んでタッチする

選んだソースに切り換わります。



• [] をタッチしてから AV ソースをドラッグすると、好みの順番に並び換えることができます。

• [] をもう一度タッチすると、並び換えを終了します。

• ソースリストを切り換えると、ホーム画面に表示されるソースのアイコンの表示も換わります。


ソースを切り換える他の方法

- ・各ソース画面でリモコンの SRC ボタンを押す。
- ・ホーム画面下部のよく使用するソースのアイコンにタッチする。
- ・ホーム画面から AV ソース選択画面を表示して、ソースのアイコンにタッチする。

■ ソースをオフにする

ソースをオフにするには、以下の操作を行います。

1 AVソース選択画面を表示する (→P13)

2 [] にタッチする

ソースがオフになります。

ソースをオフにする他の方法

- ・各ソース画面でリモコンの SRC ボタンを長く押す。

- ・ソース選択タッチキーから Source OFF を選択する。

ディスクの出し入れ

■ディスクの入れかた

1【▲ (イジェクト)】 ボタンを押す

2【⊙▲】 にタッチする

フロントパネルが開き、ディスク挿入口が現れます。

3 レーベル面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込む

ディスクを途中まで挿入すると、自動的に引き込まれた後、フロントパネルが閉じます。

ディスクを挿入されると、挿入されたディスクを自動判別して再生を始めます。

- ④ 8 cm ディスクには対応していません。また、アダプターを装着した 8 cm ディスクも絶対に使用しないでください。
- ・ディスク挿入口には、本機に対応したディスク以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

■ディスクの取り出しかた

1【▲ (イジェクト)】 ボタンを押す

2【⊙▲】 にタッチする

フロントパネルが開いて、ディスクが出てきます。

3【▲ (イジェクト)】 ボタンを押す

フロントパネルが閉じます。

- ④
- ・取り出したディスクは、ケースなどに入れて保管してください。
- ・【▲ (イジェクト)】 を長く押しと、ディスクを取り出せます。取り出し可能音が確認できたら、【▲ (イジェクト)】 ボタンを押すのをやめてください。

モニターの角度を調整する

1【▲ (イジェクト)】 ボタンを押す

2【↕/↔】 または【↶/↷】 にタッチして、モニターの角度を調整する

3【×】 にタッチする

前の画面に戻ります。

時計の設定

1 ホーム画面などで時間表示部分 (例：[^{9:10} 12:48]) にタッチする (→P12)



2【年月日の表示形式】 を選ぶ

以下から選びます。

【日/月/年】	左から日、月、年 (西暦) の順に表示します。
【月/日/年】	左から月、日、年 (西暦) の順に表示します。
【年/月/日】	左から年 (西暦)、月、日の順に表示します。

3 設定する項目にタッチする

4【▲】 または【▼】 にタッチして、日付や時間を修正する

5【時計表示】 を選ぶ

【12H】	12 時間表示
【24H】	24 時間表示

6【×】 にタッチする

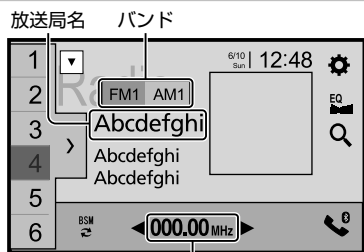
前の画面に戻ります。

- ④
- ・時計表示の形式を変えたり、表示をオフにするには、「時計のデザインを設定する」(→P54) をご覧ください。

基本操作

FM ラジオ / AM ラジオ

代表的な画面



周波数

使用する主なタッチキー

[FM1] [AM1]	バンドを切り換える タッチするたびに、バンドが切り換わります。 FM1 ↔ FM2 AM1 ↔ AM2 (→ P21)
[1] ~ [6]	プリセットチャンネルを選ぶ (→ P21)
[◀] [▶]	周波数を順に切り換えて手動選局する 長くタッチすると自動選局する (→ P21)
[>]	プリセットされた放送局の周波数を 表示する (→ P21)

CD

代表的な画面



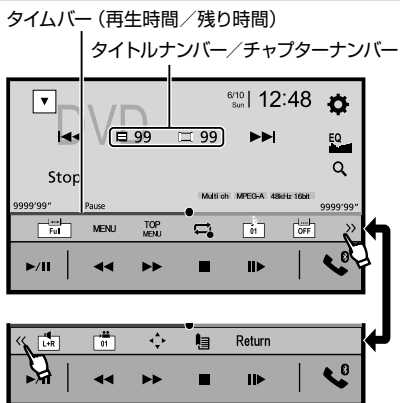
使用する主なタッチキー

[▶/]	再生を一時停止する 一時停止中にタッチすると、再生を開始します。
[◀◀] / [▶▶]	曲を戻す / 送る
[🔁] [🔁]	再生範囲を切り換える
[🎲] [🎲]	曲のランダム再生を開始 / 中止する
[☰]	曲目リストを表示する (→ P25)

✎ CD TEXT に収録された、タイトルや歌手名などの文字情報表示には対応していません。

DVD ビデオ

代表的な画面



使用する主なタッチキー

[Q]	検索画面を表示する (→ P22)
[<<] / [>>]	早戻し／早送りする 早戻し／早送り中にタッチすることにより、速度が変わります。 2 倍速→ 10 倍速→ 32 倍速
[▶/]	再生を一時停止する 停止／一時停止／コマ送り再生／スロー再生／早戻し／早送り中にタッチすると、再生を開始します。
[𠂆]	ワイドモードを切り換える (→ P22)
[■]	ディスクの再生を停止する 次に再生したとき、停止した場所からスタートします。 完全に再生を止めるには、もう一度タッチしてください。
[]	コマ送り再生／スロー再生をする (→ P23)
[MENU]	DVD のディスクメニューを表示する (→ P23)
[TOP MENU]	DVD の最上位メニューを表示する (→ P23)
[𠂆]	音声を切り換える (→ P23)
[𠂆]	字幕を切り換える (→ P24)
[𠂆]	音声出力を切り換える (→ P24)
[𠂆]	アングルを切り換える (→ P24)
[𠂆]	再生範囲を切り換える (→ P24)
[𠂆]	ディスクメニュー用タッチキーを表示する (→ P23)
[𠂆]	ブックマークを指定・解除する (→ P25)
[Return]	ディスク中の決められた場面に戻る
[<<]	機能キーのページを切り換える
[>>]	

- タイムバーのカーソルを指でドラッグして再生位置を指定することもできます。
- ビデオ設定メニューでオートプレイ機能 (→ P39) が ON に設定されていると、DVD はディスクのメニューをスキップして最初のタイトルから再生を始めます。(ディスクによっては正常に動作しないことがあります。)
- ブックマークが登録されている DVD ディスクは、登録されている場面から再生されます (→ P25)。
- 画面をタッチするとタッチキーが表示されます。

DVD-VR、ビデオ CD、その他の動画ファイル

ビデオ CD の再生、DVD-VR 形式で記録されている DVD (DVD-R/RW) の再生、ディスクや USB 機器に記録されている動画ファイルの再生を行います。

- 詳しいファイル対応については「再生可能なメディアとファイルについて」(→ P70) をご覧ください。

代表的な画面 (DivX ファイル)

タイムバー (再生時間／残り時間)



使用する主なタッチキー

[≡]	ビデオ CD 以外： リスト画面を表示する (→ P25) ビデオ CD： 検索画面を表示する
[<<] / [>>]	早戻し／早送りする 早戻し／早送り中にタッチすることにより、速度が変わります。 2 倍速→ 10 倍速→ 32 倍速
[▶/]	再生を一時停止する 停止／一時停止／コマ送り再生／スロー再生／早戻し／早送り中にタッチすると、再生を開始します。
[𠂆]	ワイドモードを切り換える (→ P22)
[■]	ディスクの再生を停止する
[]	コマ送り再生／スロー再生をする (→ P23)
[𠂆]	音声出力を切り換える (→ P24)
[𠂆]	リピート再生する範囲を切り換える (→ P24)
[𠂆]	音声を切り換える (→ P23)
[𠂆]	字幕を切り換える (→ P24)

[↻]	JPEG のみ： 画像を回転させる タッチするごとに、時計回りに 90 度 ずつ回転します。
[↓]	JPEG のみ： JPEG ファイルのキャプチャーをす る (→ P26)
[⏪] [⏩]	機能キーのページを切り換える

- タイムバーのカーソルを指でドラッグして再生位置を指定することもできます。
- JPEG 画像は、ファイルナンバー順に再生されます。フォルダーに再生画像がないときは、次のフォルダーから再生されます。

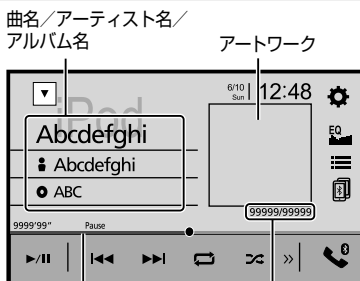
iPod

iPod を本機に接続して、iPod オーディオや Apple Music Radio を再生します。

Bluetooth で接続する方法は **P52** を、USB ケーブルを使った接続方法については、**P67** をご覧ください。

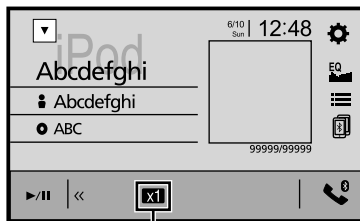
- iPod のヘッドフォンを外してから、本機に接続してください。
- iPod のモデルやデータ量によっては、再生開始までに時間がかかる場合があります。
- Apple Music Radio の詳細については、次のサイトを参照してください。
<https://www.apple.com/jp/music/>

代表的な画面 (オーディオ)



再生中のトラックナンバー/
トラック数

タイムバー (再生時間)



①

代表的な画面 (Apple Music Radio®)



タイムバー (再生時間)

使用する主なタッチキー

[≡]	曲を探す (→ P27) Apple Music Radio を選択した場合は、Apple Music Radio 設定画面を表示します。
曲名	オーディオ： 曲リストを表示して、曲を選ぶ (→ P27)
[人]	オーディオ： アーティストリストを表示して、曲を選ぶ (→ P27)
[●]	オーディオ： アルバムリストを表示して、曲を選ぶ (→ P27)
アートワーク	オーディオ： 再生中のアルバムの曲リストを表示して、曲を選ぶ (→ P27)
[▶/II]	再生を一時停止する 一時停止中にタッチすると、再生を開始します。
[x1]	オーディオ： オーディオブックの再生速度を切り換える タッチするごとに、再生速度が切り換わります。 標準 (× 1) →速い (× 2) →遅い (× 1/2)
[↺]	再生する範囲を切り換える (→ P24)
[✂]	シャッフル再生する範囲を切り換える タッチするごとにシャッフル再生の範囲が切り換わります。 Off → Songs(曲) → Albums(アルバム)
[◀] / [▶]	オーディオ： 今の曲の先頭または前の曲に戻る / 次の曲に進む
[≪] [≫]	機能キーのページを切り換える
[①]	ペアリング時： 選択した機器に接続先を切り換えます。 (→ P30)
[★]	Apple Music Radio： 設定画面を表示します。 • [これと似た曲を再生] にタッチすると、現在の曲に似た曲が再生されます。 • [これと似ていない曲を再生] をタッチして、現在の曲をもう一度再生しないように設定します。 • [iTunes ウィッシュリストに追加] をタッチすると、現在の曲が iTunes のウィッシュリストに追加されます。
[▶▶]	Apple Music Radio： 次の曲に進む



- タイムバーのカーソルを指でドラッグして再生位置を指定することもできます。
- オーディオブックの再生速度を切り換えるアイコンは、接続する iPod によっては、表示されない場合があります。

AUX、AV

市販のビデオカメラやポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を接続して、映像や音声を再生します。

■ 外部機器の接続

AUX ソースを使用する場合

本機背面の AUX 入力端子に、別売の AV 入力用変換ケーブル (CD-VRM200) を差し込み、外部機器を接続します。



- AUX ソースを ON にするには、システム設定メニューの AUX 入力設定を「オン」に設定する必要があります (→ P47)。

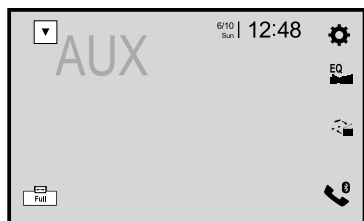
AV ソースを使用する場合

本機背面の RCA 映像 / 音声入力端子に、外部機器を接続します。



- AV ソースを ON にするには、システム設定メニューの AV 入力設定を「オン」に設定する必要があります (→ P47)。


代表的な画面 (例: AUX)





使用する主なタッチキー

[①]	[Video] 選択時： ワイドモードを切り換える (→ P22)
[②]	AUX のみ： 音声のみ / 映像と音声を切り換える

各ソースの機能詳細説明

それぞれの機能が該当するソースをマークで示しています。(例：ラジオ )

-  映像ソースで、無効の数字を入力したり、無効な操作をしようとした場合、 (禁止マーク) が表示されることがあります。この場合、入力した数字が取り消されたり、操作が拒否されたりします。


バンドを切り換える

FM、AM のバンドを切り換えます。それぞれ、2つのバンドを持っています。

1 [FM1] または [AM1] にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

FM1(バンド 1) ↔ FM2(バンド 2)
AM1(バンド 1) ↔ AM2(バンド 2)

-  バンド 1 とバンド 2 を切り換えて使うことで、より多くの放送局を登録できます。例えば、バンド 1 には、ふだんよく聞く放送局を登録しておきます。旅行などで、どんな放送局があるか知らない地域に行ったときに、バンド 2 に切り換えてベストステーションズメモリー (→ P21) を行うと便利です。

放送局を選ぶ

放送局やチャンネルの選局は、マニュアル選局、プリセット選局があります。


プリセット選局とは、本機に登録されている放送局(プリセットチャンネル)から選局する方法です。

プリセットチャンネルは、バンドごとにそれぞれ 6 局まで登録できます。

■ マニュアル選局

1 [◀] / [▶] にタッチする

周波数やチャンネルが切り換わります。

-  [◀] / [▶] にタッチし続けてから離すと、シーク(自動選局)モードになります。

■ プリセット選局

1 [1] ~ [6] にタッチする

選んだプリセットやチャンネルを受信します。

受信状態の良い放送局を自動で登録する


ベストステーションズメモリー (BSM) は、受信状態の良い放送局を探して、プリセットチャンネルに自動的に登録する機能です。

1 登録したいバンドを選び、[▶] にタッチする (→ P21)

2 [] にタッチする

ベストステーションズメモリーが始まります。

登録動作中は、回転表示がされます。登録が完了すると、回転表示が消え、P1 (プリセットチャンネル 1) に登録された放送局を受信します。

-  登録動作中に [キャンセル] にタッチすると、ベストステーションズメモリーを中止できます。
- 受信状態の良い放送局が 6 局より少ないときは、以前に登録した放送局が残ることがあります。

プリセットチャンネルを登録する

Radio

バンドごとに 6 局ずつ登録できます。お好みの放送局をお好みの順番で登録できます。

1 [FM1] または [AM1] にタッチして、登録したいバンドを選ぶ

2 [▶] にタッチする

3 [◀] / [▶] にタッチして、登録したい放送局を受信する

4 上書きしたい項目に長くタッチする

選んだ番号に周波数が表示され、登録が完了します。


交通情報を受信する (TI) **Radio**

高速道路などで放送されている交通情報ラジオの周波数に切り換えます。

この機能は、どのソースからでも操作可能なので、すぐに既定の周波数に合わせることができます。

1 [(ホーム) / TI] ボタンを長く押す

既定の交通情報に切り換えます。

- 受信をやめるときは、[ (ホーム) / TI] ボタンをもう一度長く押しします。交通情報を受信する前の状態に戻ります。

2 [] / [] にタッチして、周波数を切り換える

1 620 kHz ↔ 1 629 kHz

- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。

見たい (聞きたい) 場所を指定して再生する **Disc**

DVD ビデオやビデオ CD 再生時に、見たい (聞きたい) 場所のチャプターやトラックなどを指定して、その場所から再生できます。

1 [Q] にタッチする

2 希望のサーチ方法のタッチキーにタッチする

DVD ビデオ

[Title]	タイトルサーチ
[Chapter]	チャプターサーチ
[I/Okey]	I/O キー入力

ビデオ CD

[Track]	トラックサーチ
[I/Okey]	I/O キー入力

3 [0] ~ [9] にタッチして、ナンバーを入力する

- 入力を取り消すときは [C] にタッチします。

4 [] にタッチする

指定した場所から再生されます。

- 再生停止中は、チャプターサーチの操作はできません。

ワイド画面の拡大方法を切り換える **Disc** **USB** **AUX** **AV**



映像ソース選択時に、映像の拡大方法を切り換えます。

1 [] にタッチする

2 切り換えたいモードにタッチする

- JPEG 以外 : Full, Zoom, Normal を切り換えます。
- JPEG : Normal, Trimming を切り換えます。

各モードの説明

[Full] (フル)	画面いっぱいになるように映像を引き延ばして表示します。  • 映像によっては、全画面表示にならない場合があります。
[Zoom] (ズーム)	画像を上下に拡大して表示します。
[Trimming] (トリミング)	画像縦横比率を維持したまま、画面一杯になるように引き伸ばして表示します。画面と画像の縦横比率が異なると、映像の一部がカットされて表示されます。  • JPEG のみ対応します。
[Normal] (ノーマル)	画像縦横比を維持したまま表示します。

- ワイドモードの設定内容は、映像を持つソースごとに保持されます。(ただし、JPEG 画像では前回選んだモードは保持されません。)
- ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると (フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

コマ送り／スロー再生する

Disc USB

映像ソース選択中に、再生方法を切り換えます。

- コマ送り／スロー再生中は、音声を聞くことはできません。
- ディスクによっては、コマ送り／スロー再生中の映像が乱れる場合があります。
- コマ戻しと戻り方向のスロー再生はできません。

■ コマ送り再生

1 [**▶▶**] にタッチする

タッチするたびに、映像がコマ送りされます。

- [**▶▶**] にタッチすると、通常再生に戻ります。

■ スロー再生

1 [**▶▶**] にタッチし続ける

映像がスロー再生されます。

- DVD ビデオ / DVD-VR / ビデオ CD は、スロー再生中に [**▶▶**] にタッチすると、スロー再生の速度を4段階 (1/16 ⇒ 1/8 ⇒ 1/4 ⇒ 1/2) で切り換えます。
- [**▶▶**] にタッチすると、通常再生に戻ります。

DVD ディスクのディスクメニューを操作する Disc

DVD ビデオのディスクメニューを操作できます。

■ ディスクメニュー用タッチキーを使った操作

1 [**TOP MENU**] または [**MENU**] にタッチする

ディスクメニューが表示されます。

2 [**◀▶**] にタッチする

ディスクメニュー用タッチキーが表示されます。

[▲] [▼] [◀] [▶]	希望の項目を選択
[←]	選択項目を実行
[☑]	DVD メニューダイレクトタッチ機能に切り換える

3 [**▲**] / [**▼**] / [**◀**] / [**▶**] にタッチして、メニューを操作する

4 [**←**] にタッチする

選択したメニューから再生されます。

5 [**☑**] にタッチする

ディスクメニュー用タッチキーが画面から消えます。

■ DVD メニューダイレクトタッチ機能を使った操作

1 [**TOP MENU**] または [**MENU**] にタッチする

ディスクメニューが表示されます。

2 再生したい項目に直接タッチして、メニューを操作する (DVDメニューダイレクトタッチ機能)

- [**◀▶**] にタッチすると、ディスクメニュー用タッチキーが表示されます。DVD メニューダイレクトタッチ機能では操作しにくい場合は、ディスクメニュー用タッチキーで操作してください。
- [**Key**] にタッチすると、画面に通常再生時のタッチキーを表示させます。
- ディスクやコンテンツによっては、DVD メニューダイレクトタッチ機能に対応していないものもあります。
- ディスクによっては、ディスクメニューのないものや、表示されないものもあります。
- メニュー表示や操作方法は、ディスクによって異なります。

再生中に音声を切り換える Disc

USB

音声が複数収録されている場合、再生中に音声を切り換えられます。

1 再生中に [**☑**] にタッチする

タッチするたびに、音声が切り換わります。

- DVD-Video の場合はディスクのパッケージにある②マークの数字が音声の収録数です。
- 実際に再生される音声はディスクや動画ファイルに依存します。設定により、選択した音声とは異なる場合があります。
- 優先的に再生する音声の設定は、ビデオ設定メニューで行います (→ P38)。



再生中に字幕を切り換える **Disc**

USB

字幕が複数収録されている場合、再生中に字幕を切り換えられます。

1 再生中に [] にタッチする

タッチするたびに、字幕が切り換わります。

-  DVD-Video の場合はディスクのパッケージにある  マークの数字が字幕の収録数です。
- 優先的に再生する字幕の設定は、ビデオ設定メニューで行います (→ P38)。

音声の出力方法を切り換える


Disc

DVD ビデオや DVD-VR、ビデオ CD 再生時に、音声の出力方法をステレオまたはモノラルに切り換えられます。

1 [] にタッチする

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

L+R (ステレオ) → L (モノ左) → R (モノ右)
→ MIX (左右ミックス) → L+R (ステレオ)
に戻る

-  DVD ビデオディスクでは、音声 LPCM のときだけ、音声の出力方法を切り換えられます。
- ディスク停止中は切り換えてできません。
- DVD-VR ディスクでは、音声多重放送が録画されているときだけ、音声の出力方法を切り換えられます。




再生中にアングルを切り換える

Disc

アングルが複数収録されている DVD ビデオの場合、再生中にアングルを切り換えられます。

1 再生中に [] にタッチする

タッチするたびに、アングルが切り換わります。

-  ディスクのパッケージにある  マークの数字がアングルの収録数です。
- 早戻し / 早送り / 一時停止 / スロー再生中に本操作を行うと、通常再生に戻ります。
- 複数のアングルが収録されている場面を再生すると、画面左下にマルチアングルマーク () を表示して知らせます。
- マルチアングルマーク表示のオン / オフは、ビデオ設定メニューで行います (→ P38)。

リピート再生する **Disc** **USB/iPod**




繰り返し再生する範囲を選択できます。

1 [] にタッチする



タッチするたびに、リピート再生する範囲が切り換わります。

以下の表を参照して、リピート範囲を選択してください。





内蔵ディスク (DVD ビデオ / DVD-VR)

	再生中のディスク全体を繰り返し再生
	再生中のチャプターを繰り返し再生
	再生中のタイトルを繰り返し再生





ビデオ CD/CD

	再生中のディスクを繰り返し再生
	再生中のトラックを繰り返し再生



内蔵ディスク (それ以外の音声ファイルと動画ファイル)

	再生中のディスク全体を繰り返し再生
	再生中のフォルダーを繰り返し再生
	再生中のファイルを繰り返し再生
()	



USB (音声ファイルおよび動画ファイル)

	再生中の USB メディア全体を繰り返し再生
	再生中のフォルダーを繰り返し再生
	
()	再生中のファイルを繰り返し再生


iPod

	再生中のリスト全体を繰り返し再生
	再生中の曲を繰り返し再生

JPEG

	再生中の USB 全体を繰り返し再生
	再生中のフォルダーを繰り返し再生

選んだリピート範囲で、リピート再生します。

-  選択したフォルダーのサブフォルダーはリピート範囲対象外です。再生はされません。

- オーディオ CD データ / 音楽ファイル / 動画ファイルが混在したディスクおよび USB メディアの場合、ディスクを選択してもディスク全体がリピート範囲となりません。現在再生中のデータ範囲が対象となります。
- 音楽ファイル / 動画ファイル / JPEG ファイルが混在した USB メディアの場合、ALL を選択しても USB メディア全体がリピート範囲となりません。現在再生中のデータが対象となります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作 (1 曲リピート中の選曲操作など) を行うと、リピート再生範囲が変更される場合があります。
- 早戻し / 早送り / 一時停止 / スロー再生中に本操作を行うと、通常再生に戻ります。



- ブックマークの登録内容を消去する場合は、[削除] に長くタッチしてください。
- ブックマークは、ディスク 1 枚につき 1 場面を登録できます。
- ブックマークは、ディスク 5 枚分の登録ができます。5 枚を超えてブックマークを登録した場合は、一番古いブックマーク情報に上書きされます。

再生するデータの範囲を切り換える **Disc** **USB**

ディスクや USB メディアに映像、音声、画像が混在している場合には再生するデータ範囲を切り換えて再生します。

1 [再生] にタッチする

2 切り換えたいデータ範囲にタッチする

DISC

[Music]	音声ファイル
[Video]	動画ファイル
[CD-DA]	オーディオ CD

USB

[Music]	音声ファイル
[Video]	動画ファイル
[Photo]	画像ファイル

選択したデータ範囲に切り換わります。



- USB 機器を MTP 接続している場合は使用できません。

ブックマークを登録する **Disc**

ブックマークとは、DVD ビデオ再生中に場面を選んで登録する機能のことです。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

1 [再生] にタッチする

選んだ場面が、ブックマークとして登録されます。次回ディスク挿入時、その場面から再生されます。

リストから選んで再生する

Disc **USB**

リストを表示して聞きたい曲 / ファイルを選ぶことができます。

1 [再生] にタッチする

リストが表示されます。

2 再生したい項目にタッチする

選んだ曲 / ファイルの再生が始まります。



- フォルダー名にタッチすると、そのフォルダー内の項目リスト表示します。

ランダム再生する **Disc** **USB**

音楽ファイルや画像ファイルを、選んだりリピートの範囲内で、順番を変えて再生します。

リピート範囲が「Disc/All」のとき

ディスクや USB メディア内の曲または画像をランダムに再生します。(オーディオ CD と音楽ファイルの混在ディスク、音楽ファイルと画像ファイルの混在した USB メディアの場合は現在選択中のデータ範囲でのランダム再生になります。)

リピート範囲が「Folder」のとき

フォルダー内の曲をランダムに再生します。

1 [] にタッチする

タッチすることにより、Off ↔ On が切り換わります。

- リピートの範囲が「Track」または「File」の場合、ランダム再生を ON にすると、リピート再生の範囲が自動的に「Disc」または「Folder」に切り換わります。
- エンジンスイッチを OFF にした場合、ミュージックブラウザモード中のランダム再生は解除されます。

画像を壁紙に設定する **USB**

JPEG 画像を本機モニターの壁紙に使用できます (→ P54)。

- 停車中のみ操作することができます。
- 保存できる画像は 1 枚だけです。新しい画像を保存すると、古い画像は上書きされます。
- 解像度 720 × 480 の画像を、画面設定が「Full」の状態 (→ P22) で設定すると、画面に最適に表示されます。

1 設定したい写真を USB メディアに入れ、本機に USB メディアを接続する

2 ソースを USB に切り換える (→ P12)

3 [] にタッチして、[Photo] にタッチする

4 希望の画像を画面に表示して [] にタッチする

5 設定したい画面を選んでタッチする

AV 画面として	AV ソース選択画面の壁紙として使用します。
Home 画面として	ホーム画面の壁紙として使用します。

AV/Home 画面として	AV ソース選択画面とホーム画面の壁紙として使用します。
---------------	------------------------------

画像が保存されます。

- すでに画像が壁紙に設定してある場合は、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。保存をしないときは [いいえ] にタッチしてください。

カテゴリを選んで曲をさがす **USB**

アルバム名、アーティスト名などの項目別リストからお好みの曲を選んで再生できます (ミュージックブラウザモード)。

- 項目別リストから検索するために、データベースを構築します。USB 機器の空きスペースが 5 MB 必要です。USB 機器がロックされているときは、解除してください。
- データベース構築中は、本機の電源を OFF にしないでください。USB 機器のデータが消失する場合があります。
- データベース構築中に、ビデオメディアや JPEG 画像表示に切り換えると、メッセージが表示され、構築が中断されます。
- 本機能はタグ情報が書き込まれている音楽ファイルが対象になります。
- USB 機器を MTP 接続している場合は使用できません。
- エンジンスイッチを OFF にした場合、ミュージックブラウザモードは解除されます。

1 [**DB**] にタッチする

データベースの保存を確認するメッセージが表示されます。

2 [はい] にタッチする

メッセージが表示されたあと、データベースが保存され、ミュージックブラウザモードになります。保存をしないときは、[いいえ] をタッチしてください。

データベースの保存が完了すると、完了のメッセージが表示されます。

3 [] にタッチする

Tag 欄のリスト選択画面が表示されます。

4 リストにタッチして曲を絞り込む

[アーティスト]	アーティスト名から選曲できます。
[アルバム]	アルバム名から選曲できます。
[曲]	曲名で選曲できます。



- リストが画面に隠れているときは [...] にタッチします。リストがスクロールし、隠れた部分が表示されます。
- リスト右側に表示されたアルファベットの部分を操作すると、頭文字でのサーチができます。

5 聞きたい曲にタッチする

選んだ曲の再生が始まります。



- ミュージックブラウザモードが解除されてしまった場合は、手順 3～5 の操作を行うことで、再びミュージックブラウザモードになります。
- ミュージックブラウザモードでのリスト表示が正常にされない場合は、手順 1 から操作して、データベースを保存しなおしてください。

関連した曲を探す USB/iPod

USB または iPod で、再生している曲に関連したリストを表示して曲を探します。



- USB で本機能を使用する場合は、あらかじめデータベースの構築を行いミュージックブラウザモードにしてください (→ P26)。

1 [♪] / [人] / [●] / アートワークにタッチする

タッチしたキーに応じたリストが表示されます (→ P18, 19)。

2 リストにタッチして聞きたい曲を探す

選んだ曲の再生が始まります。



- アートワークをタッチした場合は、アルバムに収録されている曲を表示されます。

曲を探す iPod

iPod のプレイリストやアーティスト、アルバムなどのリストから選んで再生できます。

1 [≡] にタッチする

リスト選択画面に切り換わります。

2 [🎵] にタッチする

iPod ミュージックリスト選択画面が表示されます。

3 リストにタッチして曲を絞り込む

[プレイリスト]	On-the-Go や トップ 25、トップレートなどから選曲できます。
[アーティスト]	アーティスト名から選曲できます。
[アルバム]	アルバム名から選曲できます。
[曲]	曲名で選曲できます。
[ポッドキャスト]	ポッドキャストから選べます。
[作曲家]	作曲家名から選曲できます。
[オーディオブック]	オーディオブックから選曲できます。



- リストが画面に隠れているときは [...] にタッチします。リストがスクロールし、隠れた部分が表示されます。
- リスト右側に表示されたアルファベットの部分を操作すると、頭文字でのサーチができます。

4 聞きたい曲にタッチする

選んだ曲の再生が始まります。

Bluetooth Audio 操作

AV プロファイルに対応した Bluetooth Audio 機器と本機をワイヤレス接続することで、Bluetooth Audio 機器内の音楽データを本機で再生することができます。

AV プロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。


接続 プロファイル	音声伝送	選曲操作	特殊再生 操作	情報表示
A2DP Ver1.0	○	×	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.0	○	△	×	×
A2DP+AVRCP Ver1.3	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver1.4	○	△	△	△
A2DP+AVRCP Ver1.5	○	△	△	△

○：できます。

△：Bluetooth Audio 機器により異なります。

×：できません。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) とは、音声をワイヤレスで伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) とは、楽曲の選曲操作や情報表示するためのプロファイルです。

 本機では同時に2台の Bluetooth 接続を行えますが、Bluetooth Audio 機器 (iPod の Bluetooth 接続を含む) としては常に1台だけの再生になります。もう一台の機器を再生したい場合は、機器を切り換えてから再生してください。

Bluetooth Audio 機器の登録


Bluetooth Audio 機器をお使いになるには、あらかじめ本機に Bluetooth Audio 機器を登録する必要があります (→ P51)。


登録が行われ、使用用途として「ハンズフリー／Bluetooth Audio」または「Bluetooth Audio」が設定された Bluetooth Audio 機器は、ソースが Bluetooth Audio に切り換えられた時点で自動的に本機と接続され再生が始まります。(一番最近に接続された Bluetooth Audio 機器に接続を試みます。)



- 接続された機器によっては、再生が始まる場合と始まらない場合があります。
- 本機に登録されていない Bluetooth Audio 機器は、接続することができません。
- 優先接続する Bluetooth Audio 機器を変更したい場合は、Bluetooth 設定メニューで行ってください (→ P51)。
- Bluetooth Audio 機器が別のプロファイルで接続中は、接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio 機器の全てのプロファイルの接続を解除してから再度接続してください。

Bluetooth Audio 設定


1 ホーム画面 (→P12) の [] にタッチする


2 [] (システム設定メニュー) にタッチする

3 [AVソース設定] → [Bluetooth Audio] がオンになっていることを確認する

[Bluetooth Audio] をタッチすることにより、オン ↔ オフが切り換わります。





Bluetooth Audio 機器を再生する

1 ホーム画面 (→P12) の [] にタッチする

2 [] にタッチする

再生が始まります。Bluetooth Audio 機器が接続されていない場合は自動的に接続を行います。




[] / []	タッチするとトラックアップ / ダウンします。
[]	再生中は一時停止をします。一時停止中は再生を開始します。
[]	タッチするごとに、リピート再生を切り換えます。
[]	タッチするごとに、ランダム再生を切り換えます。
[]	接続中の Bluetooth Audio 機器との接続を切断し、選択した機器に接続先を切り換えます。(→ P30)



- 自動的に再生が始まらない場合は、[] にタッチしてください。
- [] にタッチしても再生が開始されない場合は、Bluetooth Audio 機器側で再生を開始させてください。
- A2DP + AVRCP 接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。
- A2DP+AVRCP Ver1.3 または A2DP+AVRCP Ver1.4 で接続した場合は、トラックタイトルやアーティスト名などの情報が表示されません。(Bluetooth Audio 機器によっては表示されない場合もあります。) また、何らかの理由により再生が始まらない場合や接続が切断された場合は、一時的にそれらの情報が表示されなくなりますが、再生が始まると再表示されます。
- お使いになる Bluetooth Audio 機器によっては使用できない機能や制限事項があります。
- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作 (1 曲リピート中の選曲操作など) を行うと、リピート再生範囲が変更される場合があります。

リストから選んで再生する

リストを表示して聞きたい曲 / ファイルを選ぶことができます。

1 [] にタッチする

リストが表示されます。

2 再生したい項目にタッチする

選んだ曲 / ファイルの再生が始まります。



- フォルダ名にタッチすると、そのフォルダ内の項目リスト表示します。

Bluetooth Audio 機器の接続について

■ 接続する Bluetooth Audio 機器を切り換える

Bluetooth Audio 機器を複数台登録した場合、切り換えて使用できます。

- ✎ 切り換えたい機器の Bluetooth 機能が ON になっていないと、接続できません。

1 [] にタッチする

2 切り換えたい Bluetooth Audio 機器にタッチする

選択した Bluetooth Audio 機器への接続を行います。

- ✎ 切り換え先の機器の種類や機器状態によって、切り換え前の AV ソースが維持されることがあります。その場合は Bluetooth Audio 経由で再生したいソースに手動でソースを切り換えてください。

■ 一時的に接続が切断された場合

本機との接続が成功した Bluetooth Audio 機器は、以下のような理由により一時的に Bluetooth 接続が切断された場合、自動的に再接続を行います。

- AV ソースを切り換えた場合
- ACC を OFF/ON した場合

- ✎ お使いになる携帯電話によっては、Bluetooth Audio を使用中は携帯電話がデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったん本機のシステム設定メニューの Bluetooth Audio を「オフ」(→ P28) にすることで、Bluetooth Audio 接続を行わないようにすることができます。(Bluetooth Audio 機器の音楽再生ソフトも終了させてください。)

■ Bluetooth Audio 機器が自動的に接続されない場合

お使いになる Bluetooth Audio 機器によっては、Bluetooth Audio 機器の登録が行われていても自動的に接続できないことがあります。その場合は、Bluetooth Audio 機器側から本機をサーチし、Bluetooth Audio 機器側での操作で本機に接続してください。

- ✎ 自動接続処理は 1 分以内に接続が完了しないと中断されます。
- ✎ Bluetooth Audio 機器側の接続操作は、Bluetooth Audio 機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

便利な機能

バックカメラを使う

別売のバックカメラユニットを接続すると、車両後退時の後方映像を本機のモニターに表示できます。

あらかじめ、バック信号線の接続（→P60）と、カメラ設定（バックカメラ入力、カメラ極性設定、駐車アシスト線表示設定、バックカメラ調整）（→P47）を行ってください。

- バックカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

1 車両のシフトレバーをR（リバース）の位置にする

バックカメラの映像が表示されます。

- シフトレバーをR（リバース）以外の位置にすると、バックカメラの映像が消えます。

リアモニターを使う

本機に別売のリアモニターを接続すると、映像ソースを後部座席でも楽しめます。

リアモニターに出力できる映像は、以下の映像です。音声だけのソースを再生しているときは何も出力されません。

- ・DVD-Video/DVD-VR の映像
- ・DVD-ROM/CD-ROM および USB メディア内の動画ファイルの映像
- ・AUX
- ・AV

- タッチキーや操作画面は表示されません。
- 走行中/停車中に関係なく映像が表示されます。

■ リアモニターの設置場所について

リアモニターには、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニターは、走行中に運転者が映像を見ることができない位置に設置してください。

タッチパネルの誤差を補正する

タッチパネルに触れた位置と反応する位置がずれることがあります。このようなときは、タッチパネルの位置の誤差を補正してください（キャリブレーション設定）。

補正には、2通りの方法があります。

簡易設定

画面の四隅に現れる矢印の先端を、綿棒などの先の尖っていない物でタッチします。

詳細設定

画面の16カ所に現れる十字マークの中心を、綿棒などの先の尖っていない物でタッチします。

- 必ず、綿棒などの先の尖っていない物を使用してください。先の尖った物を使用すると、液晶画面の故障の原因となります。
- 画面を強くタッチしないでください。強くタッチすると、液晶画面の故障の原因となります。
- 設定操作中にエンジンスイッチをOFFにしないでください。設定が保存されません。

1 ホーム画面（→P12）の [⚙] にタッチする

2 [⚙]（システム設定メニュー）にタッチする

3 [タッチパネル調整] にタッチする

タッチパネル調整画面が表示されます。

4 [はい] にタッチする

- タッチパネルの誤差補正を中止するときは [いいえ] にタッチしてください。

5 綿棒などの先の尖っていない物を使って、キャリブレーション設定を行う

画面の指示に従って、キャリブレーション設定を行ってください。

6 [⏪（ホーム）/TI] ボタンを押して、詳細設定に進む

16カ所の十字マークの中心をタッチして、キャリブレーションを調整してください。

- キャリブレーション設定を途中でやめるときは、[⏪] ボタンを長く押ししてください。
- キャリブレーション設定が終わったら、[⏪] ボタンを長く押ししてください。設定内容が保存されます。

カスタムメニューを使う

任意のメニュー項目を選択し、カスタムメニューとして登録できます。よく使うメニュー項目を登録すると便利です。カスタムメニューのタッチキーは各ソースの設定画面にも表示されますので、お好みの設定画面へのアクセスを短縮できます。

■ 登録する

1 登録したい項目を表示させる

2 登録したいメニュー項目の☆マークにタッチする

☆マークが★に変わり、登録済みであることを示します。

- 登録を取り消すには、もう一度☆マークにタッチします。カスタムメニュー画面で登録を削除するには、メニュー項目を長くタッチします。
- 12項目登録できます。
- ビデオ設定メニュー(→P37)の各項目については、カスタムメニューとして登録することはできません。

■ 登録したメニューを使う

1 ホーム画面(→P12)や各ソース画面の[⚙]にタッチする

カスタムメニューが表示されます。

2 登録したメニューにタッチする

ハンズフリー通話

本機にBluetooth接続した電話機を使って、ハンズフリー通話ができます。あらかじめBluetooth設定を行ってください(→P50)。

- 本機は5つまでの機器をBluetooth接続の接続先として登録できます。
- 登録した機器のうち、HFPプロファイルに対応した電話機は同時に2台まで接続できます。

Phoneメニューを表示する

1 ホーム画面(→P12)の[📞]にタッチする



	プリセットダイヤルから電話をかけます。(→P34)
	電話帳から電話をかけます。(→P34)
	発着信履歴から電話をかけます。(→P33)
	電話番号を入力して電話をかけます。(→P33)
	本機を使ってiPhoneの音声認識操作ができます。(→P35)
	電話帳を手動で更新します。
	接続している機器の電池残量を確認できます。
	接続している機器の電波状況を確認できます。
	Bluetooth接続されている機器の番号を表示します。この番号は登録機器のリストの番号です。「Bluetooth機器を登録する」(→P51)
	一つ前の画面に戻ります。
	画面を閉じます。
	設定メニューを表示できます。

■ 操作する電話機を切り換える

電話機を2台接続しているときは、2台の接続を維持したまま、操作する電話機を切り換えることができます。切り換えを行うと、Phoneメニューに表示される内容（電話帳や発着信履歴など）は切り換えた電話機の内容になります。また、音声操作（→P35）の対象の電話機も切り換わります。

1 2台の電話機を接続する

「Bluetooth 機器を登録する」（→P51）

「登録済み機器に接続する」（→P52）

2 [] にタッチする

3 切り換えたい機器にタッチする

ハンズフリーエコー（残響音）が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声がマイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する電話機、通話相手の環境によりエコーが発生する場合もあります。

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- ・ 受話音量を小さくする
- ・ お互いに一呼吸おいて話す







ただし、本機内部のエコーキャンセラーのしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。


電話の受けかた

1 クルマのスピーカーから着信音が流れたら、[] にタッチする

電話につながり、通話ができます。

電話を切るときは、[] にタッチします。

- 付属リモコンの [ ] ボタン、[ / ] ボタン、本体の [ ] ボタンでも電話を受けたり、電話を切ることができます。
- 電話帳に登録されている電話番号と一致すると、電話帳で登録された名称が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、相手の電話番号や名前は表示されません。

- 電話機を操作して電話に出ると、プライベートモードでの通話になります。
- 「2台同時接続時の着信と受話」（→P35）
- 電話機側で応答保留にしても、[] にタッチすることで応答保留を解除できます。

電話のかけかた

いろいろな方法で電話をかけることができます。

■ 電話番号を入力して電話をかける


電話番号を入力して電話をかけます。

1 ホーム画面（→P12）の [] にタッチする







2 [] にタッチする

3 電話番号を入力し、[] にタッチする

発信を開始します。

発信中 [] にタッチすると、発信を中止します。



- 付属リモコンの [ ] ボタン、[ / ] ボタン、本体の [ ] ボタンでも発信を中止できます。


■ 発着信履歴から電話をかける

本機と接続中の履歴（発信、着信、不在着信）を表示し、電話をかけることができます。


1 ホーム画面（→P12）の [] にタッチする

2 [] にタッチする

3 表示したい履歴を選んでタッチする

 : 発信履歴

 : 着信履歴

 : 不在着信履歴

4 相手先を選んで、[] にタッチする

発信を開始します。




- 発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を含め、各80件まで保存されます。新しい履歴ができたときは、古い履歴から順に削除されます。
- 携帯電話のBluetoothプロファイルの内、PBAPプロファイルを有していることが前提です。PBAPプロファイルがあっても、発着信履歴が表示できないことがあります。

■電話帳から電話をかける

電話機から転送した電話帳情報を使って電話をかけます。あらかじめ、電話機の電話帳を本機に転送してください。

- 電話帳は、登録した電話機ごとに、それぞれ1000件ずつ保存できます。
- 電話帳は、本機に登録された電話機ごとに読み込まれます。接続する電話機を切り換えると、表示される電話帳の内容も切り換わります。
- 登録した電話機によりメモリダイヤルの読み込みに制限がある場合があります。
- PBAP プロファイルに対応していない電話機は、自動的に電話帳が転送されません。その場合は、手で電話帳の転送操作をしてください。電話帳の転送方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- 電話帳内の件数、電話機の機種により、転送に時間がかかる場合があります。(電話帳の転送中は、本機から発信することはできません。)


1 ホーム画面 (→P12) の [] にタッチする

2 [] にタッチする

3 相手先を選んでタッチする

- リスト右側に表示されたアルファベットの部分を操作すると、頭文字でのサーチができます。

4 選んだ相手先に含まれる電話番号を選んでタッチする


5 [] にタッチする



発信を開始します。

■プリセットダイヤルから電話をかける


発着信履歴または電話帳から、よく連絡する相手を電話機ごとに6件まで登録できます。

プリセットダイヤルに登録する


1 ホーム画面 (→P12) の [] にタッチする

2 [] (発着信履歴) または [] (電話帳) を表示させる


- リスト右側に表示されたアルファベットの部分を操作すると、頭文字でのサーチができます。

3 登録したい電話番号の右側にある [] にタッチする

プリセットダイヤルに登録されます。

- プリセットダイヤルに登録されている相手先を選んで、[] にタッチし、[はい] をタッチすると削除できます。

プリセットダイヤルから電話をかける

1 ホーム画面 (→P12) の [] にタッチする

2 [] にタッチする


3 相手先を選んでタッチする

4 [] にタッチする

発信を開始します。

■自動応答設定をする


かかってきた電話に自動応答するかしないかを設定できます。

1 ホーム画面 (→P12) の [] にタッチする

2 [] (Bluetooth設定メニュー) にタッチする

3 [自動受話] にタッチする


タッチするごとに、オン ↔ オフが切り換わります。

オン	着信 5 秒後に自動で通話できます。
オフ	[] にタッチしない限り、通話できません。

- 一方が通話中に、もう一方にかかってきた着信には自動受話機能は働きます。

■着信音の出力設定をする

車のスピーカーから着信音を出力するかしないかを設定できます。

1 ホーム画面 (→P12) の [] にタッチする

2 [] (Bluetooth設定メニュー) にタッチする

3 [Ring Tone]にタッチする

タッチするごとに、オン ↔ オフが切り換わります。

オン	車のスピーカーから着信音を出しません。
オフ	車のスピーカーから着信音を出します。

■ 姓名の順序を入れ替える

1 ホーム画面 (→P12) の [⚙] にタッチする







2 [Bluetooth設定メニュー] にタッチする

3 [姓名変換] にタッチする

通話中メニューの操作

通話中は、通話中メニューが表示され、マイク感度の調整やプライベートモードのオン/オフ、電話を切るなどの操作ができます。



[]	通話中メニューを最小化します。
[]	電話番号入力画面を表示します。
[]	電話を切ります。
[]	プライベートモードをオン/オフします。ハンズフリー通話を一時的に使わないときはプライベートモードをオンにします。
[]	プライベートモードをオンにします。
[]	マイク感度を 3 段階で調整できます。



- 付属リモコンの [◀▶] ボタン、[▲▼] ボタン、本体の [◀▶] ボタンでも電話を受けたり、電話を切ることができます。
- 通話中およびソース画面表示中は、通話中メニューを最小化できません。
- 電話機側で操作することもできます。
- 本機に電話機を 2 台同時に接続している場合、1 台目のプライベートモードをオンにしていれば、1 台目の通話を維持したまま 2 台目にかかってきた電話もとることができます。

■ 2 台同時接続時の着信と受話

本機に電話機を HFP によって 2 台同時に接続している場合、1 台目が通話中 (発信中、着信中、キャッチホン中も含め) に 2 台目に電話が掛かってくると、「2 台目の電話」と表示されます。

2 台目への着信を受けるときの 1 台目の動作は、1 台目のプライベートモードのオン/オフによって異なります。

1 台目のプライベートモードがオンのとき：

1 台目の通話を維持したまま、2 台目にかかってきた電話をとります。

1 台目のプライベートモードがオフのとき：

1 台目の通話を終了し、2 台目にかかってきた電話をとります。



- 2 台目のプライベートモードをオンにして電話に出た場合も、1 台目の通話を維持したまま 2 台目にかかってきた電話をとることができます。

音声認識機能を使う

本機を使って iPhone/iPad の音声認識操作ができます。

iPhone/iPad に iOS 6.1 以上が搭載され、iPhone/iPad で Siri の設定を ON にしている場合は、Siri アイズフリー (音声認識) 機能が使えます。

それ以外の場合は、音声コントロールとして動作します。



- 音声認識で操作できる機能は、iPhone/iPad によって異なります。
- 音声認識機能については、iPhone/iPad の取扱説明書をご覧ください。
- 車の窓は閉め、マイクの正面に向かって発声してください。
- はっきりと、ゆっくり発声してください。
- iPhone/iPad 以外の機器の音声認識には対応していません。

1 ホーム画面 (→P12) の [] にタッチする

2 [] にタッチする



- [] ボタンを長く押しでも起動できます。

3 マイクに向かって話す

発声した内容に関連するアクションや情報表示をします。

Apple CarPlay 操作

本機に iPhone を接続し、Apple CarPlay を利用することができます。

- iPhone やアプリケーションの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- Apple CarPlay は、iOS 7.1 以降を搭載した iPhone 5 以降の端末に対応しています。対応機種については、弊社ホームページでご確認ください。
(<http://pioneer.jp/carrozzeria/>)
- Apple CarPlay についての詳細は、Apple CarPlay サポートサイトをご確認ください。

• iPhone/iPad に iOS 6.1 以上が搭載され、iPhone/iPad で Siri 機能が ON に設定されている場合は、画面には「音声認識 / 応答中」と表示されます。それ以外の場合は「音声コントロール」と表示されます。

• 終了するには、[X] にタッチして音声認識ウィンドウを閉じるか、[⏻] ボタンを押します。

■ 2 台同時接続時の音声認識操作

音声操作する電話機を切り換えて操作することができます。(音声認識操作での切り換えを行った場合は、Phone メニューでの操作対象になる電話機も切り換わります。)

1 2 台の電話機を接続する

「Bluetooth 機器を登録する」(→ P51)

「登録済み機器に接続する」(→ P52)

2 ホーム画面 (→ P12) の [📞] にタッチする

3 [📞] にタッチする

4 操作したい電話機のキーにタッチする

音声認識を始めるタッチキーに出ている番号は登録された機器の番号です (→ P52)。

iPhone を接続する

1 本機の USB 端子に iPhone を接続する

2 ホーム画面 (→ P12) の [📱] の上にある [🍏 (Apple CarPlay)] にタッチする

Apple CarPlay の画面が表示されます。

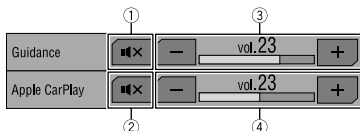
- Apple CarPlay がオンになったら、[🍏] を押して Siri 機能を使用することができます。
- iPhone と本機が Bluetooth で接続されているときは、Apple CarPlay が有効になると Bluetooth 接続は終了します。Android などの別の端末と本機が Bluetooth で接続されているときは、Bluetooth オーディオ接続のみが可能です。

音量調節

Apple CarPlay を使用すると、ガイド音量と警告音量をメイン音量とは別に調節できます。

1 Apple CarPlay 画面を表示中に、[+ / - VOL (音量)] ボタンを押す

音量設定メニューが 4 秒間表示されます。



- | | |
|---|--|
| ① | ガイド音声をミュートします。 |
| ② | AV ソースの音声をミュートします。 |
| ③ | ガイド音声の音量を調節します。 |
| ④ | メイン音量。メイン音量は【+ / - VOL (音量)】ボタンで調節します。 |

- 音量設定メニューは 4 秒間表示されます。表示が消えたときは、【+ / - VOL (音量)】ボタンを押すと再度表示されます。

Android Auto™ 操作

本機に Android Auto 対応の Android 端末を接続し、Android Auto を利用することができます。

- システム設定メニューの [入力/出力設定] で [USB MTP] をオンに設定している場合は、Android Auto はご使用になれません。
- Android 端末やアプリケーションの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- Android Auto は、Android 5.0 以上の端末に対応しています。対応機種については、弊社ホームページをご確認ください。
(<http://pioneer.jp/carrozzeria/>)
- Android Auto を使用する場合は、Android 端末への専用アプリケーションのインストールが必要です。
- Android Auto についての詳細は、Android Auto サポートサイトをご確認ください。

Android™ 端末を接続する

1 本機のUSB端子にAndroid端末を接続する

2 ホーム画面 (→P12) の [] の上にある [▲ (Android Auto)] にタッチする

Android Auto の画面が表示されます。

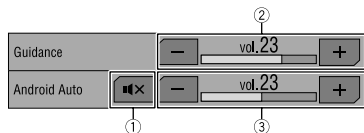
- Android Auto が有効になったら、[] を押し、音声認識を使用することができます。
- Android Auto 対応の端末以外の携帯電話で通話中に Android Auto をオンにすると、通話後に Bluetooth 接続が Android Auto 対応の端末に切り換わります。

音量調節

Android Auto を使用すると、ガイド音量と警告音量をメイン音量とは別に調節できます。

1 Android Auto画面を表示中に、[+/- VOL (音量)] ボタンを押す

音量設定メニューが 4 秒間表示されます。



- AV ソースの音声をミュートします。
- ガイド音声の音量を調節します。
- メイン音量。メイン音量は [+/- VOL (音量)] ボタンで調節します。

- 音量設定メニューは 4 秒間表示されます。表示が消えたときは、[+/- VOL (音量)] ボタンを押すと再度表示されます。

ビデオ設定

ビデオに関する設定を行います。

ビデオ設定メニューを表示する

1 ホーム画面 (→P12) の [] にタッチする

2 [] (ビデオ設定メニュー) にタッチする

ビデオ設定メニューが表示されます。

DVD 設定

[DVD 設定] にタッチすると、以下のメニューが表示されます。

[基本字幕]	優先的に表示したい字幕を設定する (→P38)
[基本音声]	優先的に聞きたい音声を設定する (→P38)
[メニュー言語]	優先的に表示したいメニュー言語を設定する (→P38)
[マルチアングル]	マルチアングルマークの表示/非表示を切り換える (→P38)
[テレビアスペクト]	画面の表示比率を設定する (→P38)
[視聴制限]	視聴制限 (パレンタルロック) を設定する (→P38)
[DVD オートプレイ]	オートプレイを設定する (→P39)

[スライドショー設定]

スライドショーの表示間隔時間を設定する (→P39)

[映像信号設定]

[映像信号設定] にタッチすると、以下のメニューが表示されます。

[AV]	AV ソースの映像信号を設定する (→P39)
[AUX]	AUX ソースの映像信号を設定する (→P39)
[カメラ]	カメラの映像信号を設定する (→P39)

- DVD 設定の項目はソースを Disc にしているときのみ設定できます。
- [スライドショー設定] はソースを USB にして JPEG 画像の再生時のみ設定できます。
- ディスクの表示画面によって、ビデオ設定メニューの変更ができない場合もあります。

■ 字幕言語 / 音声言語 / メニュー言語を設定する

1 ビデオ設定メニュー (→P37) の [DVD設定] → [基本字幕] / [基本音声] / [メニュー言語] にタッチする

基本字幕 / 基本音声 / メニュー言語選択画面が表示されます。

2 希望の言語にタッチする

- 設定した言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。

「その他」を選んだ場合

「その他」を選択すると、言語コードを入力できます。言語コード表 (→P78) を参照して、言語コードを入力し、[←] にタッチしてください。

- [C] (クリア) にタッチすると、入力した数字を消して、現在設定されている言語コードを表示します。

■ マルチアングルマークの表示 / 非表示を切り換える

マルチアングルで収録されたディスクで、アングル切り換えができる場面を再生している間、マルチアングルマークを表示できます。

1 ビデオ設定メニュー (→P37) の [DVD設定] → [マルチアングル] にタッチする

タッチすることにより、オン(表示) ↔ オフ(非表示) が切り換わります。

■ テレビアスペクトを設定する

ディスクに収録された映像 (画像) の比率に合わせて設定します。

1 ビデオ設定メニュー (→P37) の [DVD設定] → [テレビアスペクト] にタッチする

2 設定を選んでタッチする

16 : 9	ワイドモニターに最適な設定です。
レターボックス	上下に黒い帯のある画面になります。通常、4 : 3 のモニターで使用します。
パンスキャン	左右の切れた画面になります。通常、4 : 3 のモニターで使用します。

- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- DivX ファイル再生時は、テレビアスペクトの設定によっては、画像の左右および上下に黒帯が付くことがあります。

■ 視聴制限 (パレンタルロック) を設定する

ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、レベルによって段階的に設定できます。

- はじめて視聴制限を設定するときは、まず暗証番号を設定します。暗証番号を設定しないと、視聴制限は設定できません。
- 視聴制限レベルは、ディスクに記録されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。なお、視聴制限レベルが記録されていないディスクでは、レベル設定しても視聴制限は設定できません。
- ディスクによっては、視聴制限された場面だけを飛ばして再生するものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

暗証番号とレベルを設定する

1 ビデオ設定メニュー (→P37) の [DVD設定] → [視聴制限] にタッチする

2 暗証番号を入力する

↑ 視聴制限		
1	2	3
4	5	6
7	8	9
C	0	←

- [C] (クリア) にタッチすると、入力した数字を消せます。
- 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをおすすめします。

3 [←] にタッチする

暗証番号が設定され、レベル設定画面が表示されます。

4 希望のレベルの数字にタッチする


5 [←] にタッチする

視聴制限レベルが設定されます。

レベルを変更する場合

1 暗証番号を入力して [←] にタッチする

レベル設定画面が表示されます。

- 間違った暗証番号を入力すると、が表示され、番号が間違っていることを知らせます。正しい暗証番号を入力してください。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、以下の「暗証番号を忘れたときは」をご覧ください。

2 希望のレベルの数字にタッチする

3 [←] にタッチする

視聴制限レベルが変更されます。

視聴制限されたディスクを再生するとき

視聴制限されたディスクを再生しようとしたとき、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合、暗証番号を入力しないと再生は始まりません。

暗証番号を忘れたときは

リセットボタンを押して登録した暗証番号を解除し、新しい暗証番号を入力します。

- リセットボタンを押すと、本機は初期状態に戻り、設定内容は消去されます。

■ オートプレイを設定する

DVD メニューをスキップし、最初のタイトルから再生を始めます。

- DVD ディスクによっては正常に動作しない場合があります。その場合は設定を OFF にしてください。

1 ビデオ設定メニュー (→P37) の [DVD設定] → [DVDオートプレイ] にタッチする

タッチすると、オフ ↔ オンが切り換わります。

■ スライドショーの表示間隔時間を設定する

1 ビデオ設定メニュー (→P37) の [スライドショー設定] にタッチする

2 希望の時間にタッチする

5 秒	表示間隔時間を 5 秒に設定する。
10 秒	表示間隔時間を 10 秒に設定する。
15 秒	表示間隔時間を 15 秒に設定する。
手動設定	表示間隔時間を手動で設定する。

- キー操作で画像を切り換えたいときは、「手動設定」を選びます。

■ 映像信号を設定する

RCA 映像 / 音声入力端子や AUX 入力端子に接続する外部機器やバックカメラに合わせて映像信号を固定したい場合に設定します。(通常はオートのままでお使いください。)

1 ビデオ設定メニュー (→P37) の [映像信号設定] にタッチする

2 希望のソースにタッチする

3 設定を選んでタッチする


AV、AUX、カメラのそれぞれのソースに対して、以下の中から設定できます。


オート	設定の判別を自動で行う場合
PAL	PAL 形式に固定する場合
NTSC	NTSC 形式に固定する場合
PAL-M	PAL-M 形式に固定する場合
PAL-N	PAL-N 形式に固定する場合
SECAM	SECAM 形式に固定する場合

オーディオ設定

音量バランスやグラフィックイコライザーなどの、オーディオに関する設定を行います。

オーディオ設定メニューを表示する

1 ホーム画面 (→P12) の [] にタッチする

2 [] (オーディオ設定メニュー) にタッチする

オーディオ設定メニューが表示されます。

[イコライザー]	グラフィックイコライザーを使う (→P40)
[フェーダー/バランス] (*2)	前後左右のスピーカーの音量バランスを調節する (→P41)
[バランス] (*1)	左右のスピーカーの音量バランスを調節する (→P41)
[ミュート設定]	[ATT],[ミュート],[OFF] から選択できます。
[ソースレベルアジャスター]	FM の音量を基準にして各ソースの音量をそろえる (→P41)
[サブウーファー]	サブウーファーを設定する (→P41)
[スピーカー出力レベル]	スピーカー出力レベルを切り換える (→P41)
[カットオフ]	カットオフを設定する (→P42)
[サブウーファー設定]	サブウーファーを設定できます。([カットオフ]と同じ画面を表示します。)
[リスニングポジション]	リスニングポジションを選ぶ (→P42)
[タイムアライメント]	タイムアライメントを選ぶ (→P43)
[設定値の保存]	オーディオ設定を保存する (→P44)
[設定値の読み出し]	オーディオ設定を読み出す (→P44)
[バスブースト]	低音域を強調させ、迫力のある低音を再生する (→P43)
[VSCプリセット](*2)	音場を設定する (→P43)
[リアスピーカー出力]	リアスピーカー出力を設定する (→P44)

[ラウドネス]	音量を下げて再生するとき、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にする (→P44)
[オートレベルコントロール]	オートレベルコントロールを使う (→P44)
サウンドレトリバー	サウンドレトリバーを設定する (→P44)



- FM ラジオを聞いているときは、ソースレベルアジャスターは操作できません。
- (*1) が付いている項目はスピーカーモードがネットワークモード (NW) 時にしか表示されません。
- (*2) が付いている項目はスピーカーモードがスタンダードモード (STD) 時にしか表示されません。

■ グラフィックイコライザーを使う

音質を手軽に調整する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、音質を手軽に調整できます。

1 ソース画面の[] にタッチする

以下からお好みのカーブを選びます。

S.Bass	低域が厚みを持ち、迫力ある重低音が響きます。
Powerful	低域と高域が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
Natural	自然なバランスで、聞き疲れしない心地よい音を再生します。
Vocal	中高域が厚みを持ち、伸びやかなヴォーカルを際立たせます。
Flat	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときを使用してください。
Custom 1 Custom 2	お好みに合わせて調整できます。「Custom1」、「Custom2」共に、すべてのソースに共通のイコライザーカーブとして登録されます。

イコライザーカーブを細かく調整する

お好みに合わせて、イコライザーカーブの周波数ごとにレベルを調整できます。

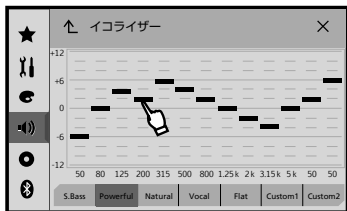


- 「Custom2」以外のカーブを選んでおくと、自動的に「Custom1」に登録されます。
- 「Custom2」を選んでおくと調整すると、「Custom2」の調整内容が更新されます。

1 オーディオ設定メニュー (→P40) の [イコライザー] にタッチする

2 調整したいカーブ [S.Bass] ~ [Custom2] にタッチする

3 調整する周波数のバーを移動して調整する

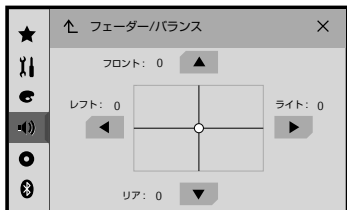


調節できる範囲は、+ 12 dB ~ - 12 dB (2 dB/ステップ) です。

■ 前後左右の音量バランスを調節する

1 オーディオ設定メニュー (→P40) の [フェーダー/バランス] にタッチする

2 [▲] / [▼] / [◀] / [▶] にタッチする



フロント、リア、左、右のバランスを調節できます。

調節できる範囲は、0 ~ 25 です。

- オーディオ設定メニューでリアスピーカー出力が「サブウーファー」に設定されているときは、前後のバランス調整はできません (→P44)。
- スピーカーモードが「ネットワークモード」に設定されているときは、前後のバランス調整はできません (→P11)。

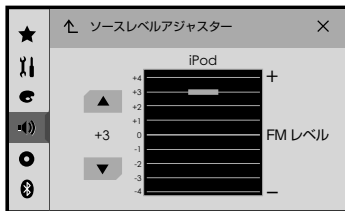
■ 各ソースの音量をそろえる

- ソースが FM ラジオのときは設定できません。

1 調節するソースを選択する (→P13)

2 オーディオ設定メニュー (→P40) の [ソースレベルアジャスター] にタッチする

3 [▲] / [▼] にタッチする



ソースレベルアジャスターのレベルを調節できます。

調節できる範囲は、+ 8 dB (+ 4 Step) ~ - 8 dB (- 4 Step) です。

- 以下は同じ設定になります。
 - AM と交通情報
 - USB 機器と iPod(USB 接続時)、スマートフォン連携機能での音声
 - Bluetooth Audio と iPod(Bluetooth 接続時)
- 内蔵ディスクの場合、以下のようにグルーピングされます。
 - DVD-Video と DVD-VR
 - それ以外のコンテンツ

■ サブウーファースのオン/オフを設定する

1 オーディオ設定メニュー (→P40) の [サブウーファー] にタッチする

タッチすることにより、オン ↔ オフが切り換わります。

■ スピーカーの出力レベルを調整する

1 オーディオ設定メニュー (→P40) の [スピーカー出力レベル] にタッチする

2 [<] / [>] にタッチする

調節できる範囲は、- 24dB ~ 10dB です。

タッチするたびに、調整するスピーカーが以下のように切り換わります。

スピーカーモードが STD の場合

フロントL ↔ フロントR ↔ リアル ↔ リアR ↔ サブウーファー ↔ フロントLに戻る

スピーカーモードが NW の場合

High Left ↔ High Right ↔ Mid Left ↔ Mid Right ↔ サブウーファー ↔ High Leftに戻る

- リスニングポジションの設定が変更されると、スピーカー出力レベルの設定も変更されます。

■ カットオフ周波数、スロープを設定する

カットする起点となる周波数を選択します。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。またそのカットの緩急を傾斜（スロープ）で設定します。

ある周波数から下の音域をカットし、上の音域を出力するフィルターをハイパスフィルター（HPF）と呼び、逆にある周波数から上の音域をカットし、下の音域を出力するフィルターをローパスフィルター（LPF）と呼びます。

1 オーディオ設定メニュー（→P40）の [カットオフ] にタッチする

2 [<] / [>] にタッチする

タッチするたびに、調整するスピーカーが以下のように切り換わります。

スピーカーモードが STD の場合

フロント ↔ リア ↔ サブウーファー ↔ フロント

フロント、リア：HPF が設定できます。

サブウーファー：LPF が設定できます。

スピーカーモードが NW の場合

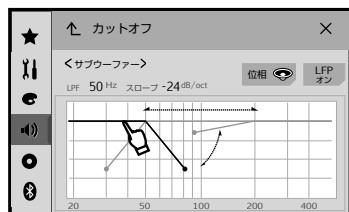
High ↔ Mid（低域側）↔ Mid（高域側）↔ サブウーファー ↔ High に戻る

High：HPF が設定できます。

Mid：HPF と LPF が設定できます。

サブウーファー：LPF が設定できます。

3 周波数カーブをドラッグする



各スピーカーのカットオフ周波数が調整できます。

4 周波数カーブの下端のポイントをドラッグする



各スピーカーのスロープを設定します。傾きが急なほどその音域のカットが鋭くなります。

• オーディオ設定メニューでサブウーファーのオン/オフの設定が「オフ」に設定されているときは、「サブウーファー」は調整できません（→P41）。

サブウーファーの位相を切り換える

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域の成分も含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転（干渉）し、打ち消し合い低域の音量が上がらないことがあります。このような場合は、位相を正相または逆相に切り換えてみて、聴感上で良いと感じる方に設定してください。

「位相」にタッチして切り換えます。

 ノーマル（正相）	サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーと同時に出力される
 リバース（逆相）	サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される

LPF/HPF のオン / オフ

「LPF/HPF」にタッチして、「オン」または「オフ」を切り換えます。

■ リスニングポジションを選ぶ

乗車位置や人数に合わせて、リスニングポジション（聞く位置）を選ぶことで、音像の定位を適切に補正することができます。

1 オーディオ設定メニュー（→P40）の [リスニングポジション] にタッチする

2 リスニングポジションを選んでタッチする



フロント L	左ハンドル車に運転者のみがいるとき
フロント R	右ハンドル車に運転者のみがいるとき
フロント	同乗者が助手席にいるとき
All	同乗者が後部座席にいるとき

• スピーカーモードが「ネットワークモード」に設定されているときは、「All」は選択できません（→P11）。

■ タイムアライメントを調整する

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節することができます。

1 オーディオ設定メニュー (→P40) の [タイムアライメント] にタッチする

2 [TAオン] または [TAオフ] にタッチする



タッチするごとに、オフ ↔ オンが切り換わります。タイムアライメントを有効にするには、オンを選択してください。

3 画面左上の「リスニングポジション」の [<] または [>] にタッチして、「フロントL」または「フロントR」を選ぶ

タイムアライメントを調整するには、フロントLまたはフロントRを選択してください。

4 調整したいスピーカーの [<] / [>] にタッチする

タッチするごとに、スピーカーの距離が 0 cm ~ 350.0 cm の間で、2.5 cm 単位で切り換わります。

5 手順4を他の調整したいスピーカーに対して行う



・他のオーディオメニューの設定項目において、そのスピーカーが有効にされていないときは調整できません。

■ 低い音を強調する

1 オーディオ設定メニュー (→P40) の [バスブースト] にタッチする

2 レベルを選んでタッチする

バスブースターのレベルを調節できます。

調節できる範囲は、0 dB (0 Step) ~ 12 dB (6 Step) です。

■ 音場を設定する (VSC プリセット)

音場設定 (VSC) は、スタジオやコンサートホールなどの音場を手軽に創出する機能です。好みの設定を選ぶだけで、さまざまな音響空間が再現できます。



VSC とは

・VSCは、「Virtual Sound Creator (バーチャルサウンドクリエイター)」の略です。

1 オーディオ設定メニュー (→P40) の [VSCプリセット] にタッチする

2 音場を選んでタッチする

M.Studio	演奏者を前にして聴くように、音が前方から聴こえるような音場を設定します。音楽ソフトを楽しむときに適しています。
D.Theater	迫力のある重低音と効果音を強調します。映画などを楽しむときに適しています。
A.Stage	ドラマや演劇など、台詞が聞き取りやすいように中音域を強調します。
R.Living	リビングでくつろぐような感覚を再現します。BGMなどを流すのに適しています。

■ リアスピーカー出力を設定する

リアスピーカー出力に接続するスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法を選びます。

1 ソースをオフにする

2 オーディオ設定メニュー (→P40) の [リアスピーカー出力] にタッチする

タッチすることにより、リア ↔ サブウーファーが切り換わります。

リア	リアスピーカーを接続する場合
サブウーファー	サブウーファーを接続する場合 (リアスピーカー端子にサブウーファーを直接接続できます。)

- 再生するコンテンツの音声フォーマットによってはサブウーファー出力がされない場合があります。
- オーディオ設定メニューのサブウーファーのオン/オフの設定を「オン」にしていないと、サブウーファーの出力はされません (→P41)。
- リアスピーカーのRCA出力、リード線出力とも、同時に変更されません。

■ 小さな音を聞きやすくする

1 オーディオ設定メニュー (→P40) の [ラウドネス] にタッチする

2 効果を選んでタッチする

Off/Low (低) /Mid (中) /High (高)

■ オートレベルコントロールを使う

異なる音源の音量差を自動的に補正し、音量を一定に保ちます。

1 オーディオ設定メニュー (→P40) の [オートレベルコントロール] にタッチする

2 モードを選んでタッチする

モード 1	音質を優先するモードを本機に設定します。
モード 2	音量一定化を優先するモードに本機を設定します。
オフ	オートレベルコントロールを解除します。

■ サウンドレトリバーを切り換える

圧縮音楽を再生するときには効果的です。

圧縮音楽は、人の耳では聴こえにくい音の成分

がカットされてしまいます。「サウンドレトリバー」は、デジタル信号処理により残されたデータから圧縮時に失われた音を補完して、音楽の持つ余韻や躍動感、広がり感のある音を復元して再生できます。

1 オーディオ設定メニュー (→P40) の [サウンドレトリバー] にタッチする

タッチすることにより、効果が切り換わります。

オフ	サウンドレトリバー機能を使用しません。
モード 1	圧縮率の低い圧縮音楽に適しています。
モード 2	圧縮率の高い圧縮音楽に適しています。

■ オーディオ設定を保存する

調節した設定を保存できます。

次の設定を保存できます：

- 「グラフィックイコライザー」
- 「スピーカー出力レベル」
- 「リスニングポジション」
- 「カットオフ」
- 「タイムアライメント」
- 「バスブースト」

1 オーディオ設定メニュー (→P40) の [設定値の保存] にタッチする

2 [OK] にタッチする

■ 保存したオーディオ設定を読み出す

1 オーディオ設定メニュー (→P40) の [設定値の読み出し] にタッチする

[サウンド設定を読み込みました。]と表示されます。

システム設定

システムに関する設定を行います。

システム設定メニューを表示する

1 ホーム画面 (→P12) の [⚙] にタッチする

2 [📱] (システム設定メニュー) にタッチする

システム設定メニューが表示されます。

[AV ソース設定]

[AV ソース設定] にタッチすると、以下のメニューが表示されます。

[MIXTRAX 設定]	MIXTRAX を設定する (→P45)
[ラジオ設定]	放送局名を選ぶ (→P47)
[Bluetooth Audio]	Bluetooth Audio を設定する (→P28)
[操作音]	操作音を出すか出さないかを設定する (→P47)

[入力/出力設定]

[入力/出力設定] にタッチすると、以下のメニューが表示されます。

[USB MTP]	USB MTP を設定する (→P47)
[AV 入力設定]	AV 入力を設定する (→P47)
[AUX 入力設定]	AUX 入力を設定する (→P47)

[カメラ設定]

[カメラ設定] にタッチすると、以下のメニューが表示されます。

[バックカメラ入力]	バックカメラの入力を設定する (→P47)
[カメラ極性設定]	バックカメラの極性を設定する (→P47)
[駐車アシスト線表示]	駐車アシスト線の表示を設定する (→P47)
[バックカメラ調整]	駐車アシスト線を調整する (→P48)

[デモモード]

デモモードを設定する (→P48)

[ステアリングリモコン設定]

ステアリングリモコンを設定する (→P48)

[設定初期化]

本機の設定を初期化する (→P48)

[タッチパネル調整]	タッチパネルの誤差を補正する (→P31)
[ディマー設定]	ボタンやディスプレイの明るさを調整する (→P49)
運転席位置	運転席の位置を設定する (→P49)
Android Auto オート起動	自動起動機能を設定する (→P49)
[画質調整]	画像の画質を調整する (→P49)
[システム情報]	[システム情報] にタッチすると、以下のメニューが表示されます。
[ファームウェア情報]	ソフトウェアのバージョンを調べる (→P50)
[ファームウェアバージョンアップ]	ソフトウェアを更新する (→P50)
[ライセンス]	本機に使われているライセンスを確認できます。

■ MIXTRAX の設定をする

MIXTRAX EZ モード時の曲の再生時間やさまざまな演出効果を設定します。

1 システム設定メニュー (→P45) の [AVソース設定] → [MIXTRAX設定] にタッチする

MIXTRAX 設定画面が表示されます。

ショートプレイバックモード	曲の再生時間を設定します。60s (60秒) ~ 180s (180秒) の範囲と、ランダムが設定できます。
ディスプレイエフェクト	MIXTRAX 専用の画面演出を行います。「オン」と「オフ」を切り換えます。
カットインエフェクト	手動で曲を切り換えるときに効果音を出します。「オン」と「オフ」を切り換えます。
エフェクト設定	曲間で再生する効果音の効果設定を行います。固定効果音とエフェクト効果音の中から選択します。
フラッシュパターン	再生する曲に応じて点滅パターンを選択します。

ショートプレイバックモードの場合

2 設定を選んでタッチする

60s	再生時間を 60 秒に設定します。
90s	再生時間を 90 秒に設定します。
120s	再生時間を 120 秒に設定します。
150s	再生時間を 150 秒に設定します。
180s	再生時間を 180 秒に設定します。
ランダム	曲が切り換わるたびに、次曲の再生時間が 60s ~ 180s から、ランダムに選択されます。
オフ	ショートプレイバックモードを解除します。

ディスプレイエフェクト/カットインエフェクトの場合

2 [ディスプレイエフェクト]または [カットインエフェクト]にタッチする

タッチするたびに、オン ↔ オフが切り換わります。

エフェクト設定の場合

2 [エフェクト設定]にタッチする

3 [スタンダード]または[シンプル]にタッチする



固定効果音とエフェクト効果音が [スタンダード] と [シンプル] にプリセットされています。固定効果音は、あらかじめ用意された 6 つの固定音で、曲間で再生されます。エフェクト効果音は、再生中の曲の終端と、次に再生される曲の先頭でエフェクト処理します。

固定効果音

フェーザー	うねり効果がかかった固定音です。
ロール	繰り返し再生効果がかかった固定音です。
ターンテーブル	スクラッチ効果がかかった固定音です。
フランジャー 2	ジェット機の上昇、下降音のような、うねり効果がかかった固定音です。
リバーブ	残響効果がかかった効果音です。

エコー 2	反響効果がかかった効果音です。
-------	-----------------

エフェクト効果音

クロスフェード	フェードアウト、フェードインして曲を繋げます。
フランジャー 1	ジェット機の上昇、下降音のような、うねり効果をかけます。
エコー 1	反響効果をかけます。
ループ	曲の一部を繰り返し再生します。



- 各キーにプリセットされている効果音には、レ点が付いています。
- 複数の効果音は、曲間ごとにランダムに切り換わります。
- エフェクト効果音のクロスフェードとフランジャー 1 は iPod ソースでは効果がかりません。

■効果音をプリセット登録する

お好みの効果音の組み合わせを [カスタム] に登録できます。一度登録すれば、お好みの効果音を、[カスタム] のタッチ操作で簡単に呼び出すことができます。

1 [カスタム]にタッチする

2 お好みの効果音にタッチしてレ点を付ける

レ点が付いた効果音が、[カスタム] にプリセット登録されます。



- [スタンダード] または [シンプル] の画面選択中に効果音にタッチした場合は、自動で [カスタム] の画面に切り替わり、[カスタム] に登録されます。
- [音量] にタッチすると、固定効果音が再生され、音を確認できます。

フラッシュパターンの場合

2 [フラッシュパターン]にタッチする

3 設定を選んでタッチする

サウンド 1 ~ 6	再生する曲のレベルに応じて変化します。
L-Pass 1 ~ 6	再生する曲の低音レベルに応じて変化します。
ランダム 1	サウンドと L-Pass の全 12 種類のパターンからランダムに選択します。
ランダム 2	サウンドの全 6 種類のパターンからランダムに選択します。
ランダム 3	L-Pass の全 6 種類のパターンからランダムに選択します。
オフ	フラッシュパターンを解除します。

■ ラジオの放送局名を選ぶ

受信中の周波数に対して、放送局名を選んで表示させることができます(工場出荷時の状態では放送局名は表示されません)。一度、放送局名を設定した後も別の放送局名に変更できます。

1 システム設定メニュー(→P45)の [AVソース設定]→[ラジオ設定]→[放送局名選択]にタッチする

2 放送局名一覧から、放送局名を選ぶ

選んだ放送局名に変更されます。



- 本機に登録されていない放送局名は表示できません。
- 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていない場合、「データなし」と表示されます。

■ 操作音を設定する

操作音を出すか、出さないかを設定できます。

1 システム設定メニュー(→P45)の [操作音]にタッチする

タッチするごとに、オン ↔ オフが切り換わります。



- お使いの機種によっては、本メニューが表示されない場合があります。

■ USB MTP を設定する

1 システム設定メニュー(→P45)の [入力/出力設定]→[USB MTP]にタッチする

2 設定を選んでタッチする

オフ	USB メモリーまたは Android 端末を USB ケーブルで接続するときに設定します。
オン	USB メモリーまたは Android 端末を USB ケーブルで接続しないときに設定します。



- MTP 接続は、お使いになる USB 機器側で MTP 接続モードへの切り換えが必要ことがあります。モードの切り換え方法については、お使いになる USB 機器の説明書をご覧ください。
- オンに設定している場合は、Android Auto はご使用になれません。

■ AV 入力を設定する

市販のビデオカメラやポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を本機の AV 入力端子に接続した場合、オンにします。



- オフのときは AV ソースが選択できません。

1 システム設定メニュー(→P45)の [入力/出力設定]→[AV入力設定]にタッチする

タッチするごとに、オン ↔ オフが切り換わります。

■ AUX 入力を設定する

市販のビデオカメラやポータブルオーディオプレーヤーなどの外部機器を本機の AUX 入力端子に接続した場合、ON に設定します。



- オフのときは AUX ソースが選択できません。

1 システム設定メニュー(→P45)の [入力/出力設定]→[AUX入力設定]にタッチする

タッチするごとに、オン ↔ オフが切り換わります。

■ バックカメラの入力を設定する

本機にバックカメラを接続している場合に設定します。

1 システム設定メニュー(→P45)の [カメラ設定]→[バックカメラ入力]にタッチする

タッチするごとに、オン ↔ オフが切り換わります。

■ バックカメラの極性を設定する

1 システム設定メニュー(→P45)の [カメラ設定]→[カメラ極性設定]にタッチする

タッチするごとに、High ↔ Low が切り換わります。

High	車のシフトレバーを R (リバース) にしたときに、バック信号線の極性が+になる場合
Low	車のシフトレバーを R (リバース) にしたときに、バック信号線の極性が-になる場合



- [バックカメラ入力]がオフのときは[カメラ極性設定]を変更できません。
- バックカメラの映像に正しく切り換わるように、必ずバック信号線を接続してください。
- 通常走行時、バックカメラ映像が表示されたり、シフトレバーを R (リバース) にしても、バックカメラ映像が表示されない場合は、極性設定を確認してください。

■ 駐車アシスト線の表示を設定する

バックカメラの表示に、駐車アシスト線を表示するかどうかを設定できます。

1 システム設定メニュー (→P45) の [カメラ設定]→[駐車アシスト線表示] にタッチする

タッチするごとに、On↔Off が切り替わりま

■ 駐車アシスト線を調整する

バックカメラに表示する駐車アシスト線を調整

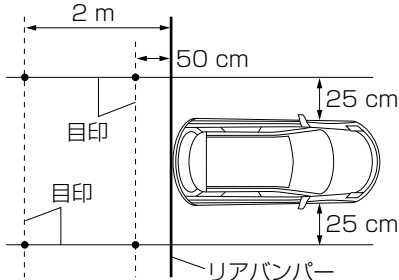
できます。パーキングブレーキが解除されている場合は操作

1 システム設定メニュー (→P45) の [カメラ設定]→[バックカメラ調整] にタッチする

◀/▶/▲/▼/◀▶/▶◀ をタッチして調整し

ます。[初期値] にタッチすると設定が、初期値に戻

- 駐車アシスト線を調整するときは、必ず安全な場
- 車から降りて確認する場合は、必ず、エンジンス
- バックカメラ画像に表示される駐車アシスト線
- 夜間や暗い場所などでは、バックカメラに表示
- 駐車アシスト線を設定する前に、梱包テープな



■ デモモードを設定する

デモを表示するか、表示しないかを設定します。

1 システム設定メニュー (→P45) の [デモモード] にタッチする

タッチするごとに、オフ ↔ オンが切り換わりま

■ ステアリングリモコン設定

別売のステアリングリモコンアダプターまたは

- 対応ケーブルについて詳しくは、弊社ホームペ

1 ソースをOFFにする

2 システム設定メニュー (→P45) の [ステアリングリモコン設定] にタッチする

3 [アダプター]/[学習] にタッチする

アダプター	別売のステアリングリモコンアダプターを使用する
学習	別売のステアリングリモコンケーブルを使用する

アダプターを選択した場合、以降の操作は画面

学習を選択した場合は、手順 4 に進みます。

4 車両のステアリングスイッチに登録する機能にタッチする

5 機能を登録する車両のステアリングスイッチのキーを長く押す

指定した機能が登録されます。

他の機能を登録する場合は、手順 3 ~ 4 を繰

6 [×] にタッチする

設定が終了します。

■ 設定の初期化

- 一度消去したデータは元に戻せません。十分注
- 必要な情報は事前に控えておいてください。

1 システム設定メニュー (→P45) の [設定初期化] にタッチする

2 [OK] にタッチする

設定が初期化され、工場出荷時の状態に戻り

■ ボタンのイルミネーションとディスプレイの明るさを調節する

1 システム設定メニュー (→P45) の [ディマー設定] にタッチする

2 設定を選んでタッチする

オート	クルマのライトに連動して明るさを自動で切り換えます。
マニュアル	明るさを昼と夜で切り換えます。「昼」と「夜」を切り換えます。
ディマー時間連動	明るさを指定した時刻で切り換えます。時間設定バーをスライドして設定します。

■ 運転席の位置を設定する

右ハンドル車か左ハンドル車かによって、Apple CarPlay 画面のサイドバーの位置を変更します。

1 システム設定メニュー (→P45) の [運転席位置] にタッチする

タッチすることにより、ライト ↔ レフトが切り換わります。

右	右ハンドル車のときに選択します。サイドバーが画面右側に表示されます。
左	左ハンドル車のときに選択します。サイドバーが画面左側に表示されます。

■ 自動起動機能を設定する

Android Auto に対応した Android 端末が本機に接続されたときに、Android Auto 機能が自動で起動する / しないを設定できます。

1 システム設定メニュー (→P45) の [Android Auto オート起動] にタッチする

タッチすることにより、オン ↔ オフが切り換わります。

オン	Android Auto 機能が自動で起動します。
オフ	Android Auto 機能は自動で起動しません。

■ 画像の画質を調整する

各ソースおよびバックカメラ画像の画質を調整します。

1 システム設定メニュー (→P45) の [画質調整] にタッチする

2 調整したい項目にタッチする



- カメラによっては調整ができない場合があります。
- 映像信号設定が「NTSC」以外は、色合いの調整はできません。

3 [◀] / [▶] にタッチする



希望の値に調整します。



- [▲] / [▼] にタッチすると、調整項目が切り換わります。

黒の濃さ	明暗を調整します。 - 24 (暗) ~ + 24 (明) の範囲で調整できます。
コントラスト	白黒の差を調整します。 - 24 (差が減少) ~ + 24 (差が増大) の範囲で調整できます。
色の濃さ	濃淡を調整します。 - 24 (淡) ~ + 24 (濃) の範囲で調整できます。
色合い	赤色と緑色のバランスを調整します。 - 24 (赤) ~ + 24 (緑) の範囲で調整できます。
明るさ	周囲の明るさに合わせた明るさの調整をします。 +1 (暗) ~ + 48 (明) の範囲で調整できます。
色温度	暖色系と寒色系のバランスを調整します。 - 3 (暖色系) ~ + 3 (寒色系) の範囲で調整できます。



- 運転中は画質調整の操作はできません。
- 黒の濃さ、コントラスト、明るさは、イルミネーションのオン / オフに応じ、個別に設定ができます。

■ ソフトウェアのバージョンを調べる

本機のファームウェアのバージョンを表示します。

1 システム設定メニュー (→P45) の [システム情報]→[ファームウェア情報]にタッチする

本機のファームウェアのバージョンが表示されます。

■ ソフトウェアを更新する

USB メモリーを接続して、本機のファームウェアのバージョンを更新します。ファームウェアについての情報や更新についての詳細は、パイオニアのホームページをご覧ください。

- 更新作業中は、本機の電源を OFF にしないでください。
- 走行中は操作できません。必ず、パーキングブレーキをかけてから操作をしてください。

1 アップデーターを格納したUSBメモリーを、付属のUSBケーブルを使って接続する

2 システム設定メニュー (→P45) の [システム情報]→[ファームウェアバージョンアップ]にタッチする

3 メッセージを確認後、[次へ]にタッチする

4 メッセージを確認後、[開始]にタッチする

更新が開始し、完了すると「アップデートが完了しました。」と表示されます。

Bluetooth 設定

ハンズフリー機能や Bluetooth Audio 機能を利用するためには、機器を本機に Bluetooth 接続します。

本機と接続可能な機器について

本機は、以下の Bluetooth プロファイルに対応しています。

プロファイル名	用途
HFP (Hands Free Profile)	ハンズフリー通話
OPP (Object Push Profile)	電話帳転送
PBAP (Phone Book Access Profile)	電話帳同期
SPP (Serial Port Profile)	シリアル通信
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオデータ転送
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)	AV 機器のリモコン機能

本機は 5 台の Bluetooth 機器を登録できます。登録した 5 台のうち、電話機能として同時に 2 台の Bluetooth 機器を接続することができますが、Bluetooth Audio 機器 (iPod の Bluetooth 接続も含む) として接続できるのは常に 1 台です。


■ Bluetooth 接続できないときは

以下症状でお困りの場合は、それぞれの「処置」をお試しください。

症状	処置
HFP 接続はできるが、SPP 接続ができない。(アプリケーション機能が使えない。)	Bluetooth 機器の Bluetooth 通信機能を OFF → ON してください。それでも正常にならない場合は、Bluetooth 機器を再起動してください。
HFP 接続ができない。	車のエンジンスイッチを OFF → ON (ACC OFF → ON) してください。 接続がうまくいかない登録済みの機器をいったん削除し、もう一度登録・接続を行ってください。

Bluetooth 設定メニューを表示する

パーキングブレーキが解除されている場合は操作できません。安全な場所に車を停めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。

1 ホーム画面 (→P12) の [] にタッチする


2 [] (Bluetooth設定メニュー) にタッチする

Bluetooth 設定画面が表示されます。

[機器登録／削除]	Bluetooth 接続する機器を本機に登録 (ペアリング) します (→P51)。また、機器を2台以上登録したときは、手動で切り換えたり、削除できます (→P52)。
[自動接続]	本機と Bluetooth 機器の自動接続を設定できます (→P52)。
[自機検出]	Bluetooth 機器側から周辺の機器をサーチした際に本機が見えるようにします (→P52)。
[パスキー]	本機のパスキーを変更できます (→P52)。
[自機情報]	本機の自機名称や BD アドレスを確認できます。
[自動受話]	かかってきた電話に自動で応答するかしないかを設定できます (→P34)。
[Ring Tone]	着信音の出力設定ができます (→P34)。
[姓名変換]	姓名の順序を入れ替えます。
[Bluetoothメモリクリア]	本機に搭載された Bluetooth ユニットのメモリーをクリアできます (→P53)。


Bluetooth 機器を登録する

5 台の機器を接続先として登録することができます。

 • Bluetooth 機器は本機に登録しないと使用できません。

1 Bluetooth設定メニュー (→P51) の [機器登録/削除] にタッチする

2 接続したい機器の Bluetooth機能を ONにし、本機からの検出が可能な状態にする

3 [] にタッチする


周辺の Bluetooth 機器を自動的に探します。
Bluetooth 機器が見つかると、リスト表示されます。

4 登録する機器にタッチする

機器名称と BD アドレスにタッチすると、リストの表示内容を機器名称と BD アドレスとで切り換えられます。


5 Bluetooth機器を操作してペアリングを許可する

ペアリングが完了すると、自動的に本機と Bluetooth 機器との接続が開始されます。

 • Android 端末をお使いの場合は、電話帳へのアクセス許可を求めるメッセージがステータスバーにのみ表示されることがあります。その場合は、ステータスバーを下にドラッグして、通知パネルを表示して操作してください。
• Bluetooth 接続完了まで約 30 秒から 1 分程度かかります。
• Bluetooth 機器からパスキーを求められた場合は、本機に表示されている数字を入力してください。

■ 登録した機器を削除する

1 Bluetooth設定メニュー (→P51) の [機器登録/削除] にタッチする

2 [] にタッチする

「選択した Bluetooth 機器の登録を削除します。よろしいですか?」と表示されます。

3 [はい] にタッチする

登録した機器が削除されます。

登録済み機器に接続する

本機は Bluetooth 接続でハンズフリー通話用の電話機 2 台を HFP により同時に接続することができます。

- ✎ 接続したい機器の Bluetooth 機能がオンになっていないと、接続できません。

1 Bluetooth設定メニュー (→P51) の [機器登録/削除] にタッチする

2 接続したいBluetooth機器にタッチする

Bluetooth ロゴが青色になっているのが現在接続中の機器です。アクティブになっていない機器にタッチすると、その機器への接続を試みます。

2 台の Bluetooth 機器がすでに HFP により接続されているとき、接続しようとしている機器が HFP 接続機器だった場合は、先に接続していた機器のうち最初に接続していた方を切断します。

■ 2 台の機器を HFP 接続中のときの Bluetooth Audio 機器の接続

HFP 接続に対応した機器 2 台の HFP 接続を維持したまま、3 台目を Bluetooth Audio 機器として接続したい場合は、AV ソース画面の機器切り換えタッチキーを使用するか、Bluetooth 機器側から接続してください。(Bluetooth 設定メニューの [機器登録/削除] からは、1 台目を切断して接続します。)

接続を切断する

1 Bluetooth設定メニュー (→P51) の [機器登録/削除] にタッチする

2 接続を切断したいBluetooth機器にタッチする

Bluetooth ロゴが青色になっているのが現在接続中の機器です。接続中の機器にタッチすると、接続が切断されます。

その他の設定

■ 接続する Bluetooth Audio 機器を切り換える

Bluetooth Audio 機器を複数台登録した場合、切り換えて使用できます。

- ✎ 切り換えたい機器の Bluetooth 機能が ON になっていないと、接続できません。

1 [] にタッチする

2 切り換えたいBluetooth Audio機器にタッチする

選択した Bluetooth Audio 機器への接続を行います。

■ 自動接続を設定する

本機に登録した機器が接続可能な場合、自動で接続を行います。

1 Bluetooth設定メニュー (→P51) の [自動接続] にタッチする

タッチするたびに、オン ↔ オフが切り換わります。

- ✎ 自動接続される順番は、本機に登録された順になります。
- 2 台の HFP 機器を自動的に接続した場合は、最初に接続された機器が Phone メニューの操作対象になります。
- 自動接続を「オン」に設定している場合でも、Bluetooth 機器の状況によっては接続できないときがあります。

■ 自機検出を設定する

Bluetooth 機器側から周辺の機器を検索した際に、本機を探せるようにします。

1 Bluetooth設定メニュー (→P51) の [自機検出] にタッチする

タッチするたびに、オン ↔ オフが切り換わります。

- ✎ 設定を「オフ」にしても、Bluetooth 機能は使用できます。

■ パスキーを設定する

本機のパスキーを設定できます。

1 Bluetooth設定メニュー (→P51) の [パスキー] にタッチする



2 パスキーを入力し、[←] にタッチする

- ✎ [Clear] にタッチすると、入力した番号を消去します。
- パスキーは、8 桁まで入力できます。

デザイン設定

壁紙やイルミネーションの設定など、画面のカスタマイズを行います。

デザイン設定メニューを表示する



- 1 ホーム画面 (→P12) の [] にタッチする
- 2 [ (デザイン設定メニュー)] にタッチする
デザイン設定画面が表示されます。

[イルミネーション]	ボタンのイルミネーション色を変更する (→P53)
[テーマ]	画面の色を変更する (→P54)
[壁紙]	音楽などを聴いているときのモニター表示を、さまざまな表示に切り換える (→P54)
[時計]	時計のデザインを設定する (→P54)

■ ボタンのイルミネーションを設定する

- 1 デザイン設定メニューの [イルミネーション] にタッチする
- 2 設定を選んでタッチする

5種類の固定色、カスタムカラー、レインボーから選択できます。

[] カスタム カラー	タッチするとカラーバーが表示されます。[<] / [>] またはカラーバーをドラッグして希望の色を選択します。 [メモ] を長くタッチすると、その時点の色を保存します。もう一度、[メモ] をタッチすると、保存した色を呼び出します。
[] レインボー	タッチすると色が自動で切り換わるモードに設定されます。

- レインボーを選択中にカスタムカラーのアイコンにタッチすると、その時点で色の変化が止まり、その色を元に調整できます。

■ 自機情報を表示する

本機の自機名称やBDアドレスを確認できます。

- 1 Bluetooth設定メニュー (→P51) の [自機情報] にタッチする

自機名称やBDアドレスが表示されます。

■ Bluetoothのメモリーをクリアする

- 1 Bluetooth設定メニュー (→P51) の [Bluetoothメモリークリア] にタッチする

「クリアしてよろしければOKを押してください。」と表示されます。

2 [OK]にタッチする

クリアが開始し、完了すると「クリアしました。」と表示されます。

- クリア中は本機の電源をオフしないでください。また、エンジンを切らないでください。

■ 画面の色を変更する

1 デザイン設定メニューの【テーマ】にタッチする

2 設定を選んでタッチする

5種類の色から選択できます。

- 【ホーム】または【AV】をタッチすると、画面のプレビューをトップメニューとソース画面を切り換えて見比べることができます。

■ 壁紙を設定する

1 デザイン設定メニューの【壁紙】にタッチする

2 【ホーム】または【AV】にタッチする

ホーム画面とソース画面の壁紙のどちらを設定するのかを選択します。

3 好みの画像にタッチして、壁紙を切り換える

5種類の静止画、2種類の動画（ソース画面のみ設定可）、キャプチャー画像、スペアナ（ソース画面のみ設定可）から選択できます。

- 隠れている画像を表示するには、タッチしながらスライドします。
- キャプチャー画像を選択するには、画像のキャプチャー操作が必要です（→P26）。

■ 時計のデザインを設定する

1 デザイン設定メニューの【時計】にタッチする

2 設定を選んでタッチする

Clock1（細字）、Clock2（太字）、Clock3（デザイン文字）、OFF（時計を表示しない）から選択できます。

接続・取り付け

接続・取り付け上のご注意

- 接続する前に、必ず車のバッテリーの⊖端子を外してください。
- 車への取り付けは、必ず本書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

接続・取り付け部品を確認する

■ 本体関係

本体 × 1



トラスネジ（5 mm × 9 mm） × 6



皿ネジ（5 mm × 9 mm） × 6



ハンズフリー通話用マイク × 1



■ コード関係

電源コード × 1



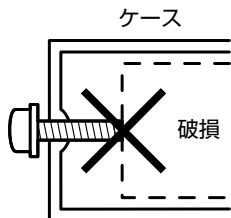
USB 延長ケーブル × 1



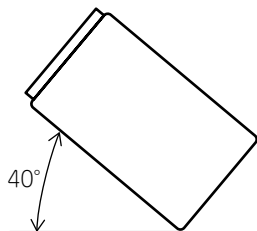
取り付けの前に知ってほしいこと

■ 取り付け上のご注意

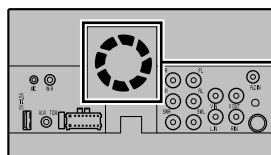
- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、確実に固定できずに外れたりして危険です。



- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して40度以内の角度で取り付けてください。



- 放熱を妨げないために、下図の部分を塞がないように配置してください。



この部分を塞がないでください。

■ 取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取り付けてください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

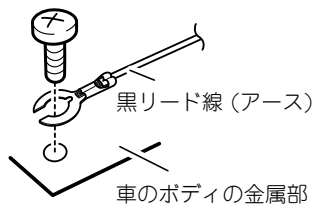
取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。

接続の前に知ってほしいこと

■ 接続上のご注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



- 本機は、エンジンスイッチにACCがない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車でご使用ください。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースに接続したり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4Ωから8Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。
- ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青/白リード線（アンテナコントロール）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

■ 接続のポイント

ノイズ防止のために

- アンテナコードは、スピーカーコード、および電源リード線などと束ねたり、重ねたり、交差

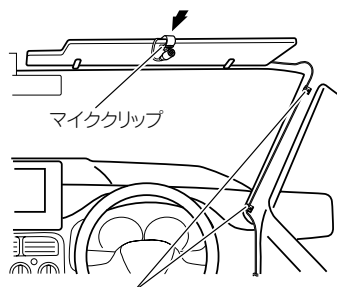
させたりしないでください。

電源配線キットを別売しています

- ・システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源を取ることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

■コネクター着脱のポイント

- ・コネクターは、「カチッ」と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- ・コネクターを外すときは、コネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



市販のクランパーなどで要所を固定しながら、運転操作に支障がないようにマイクコードを引き回します。

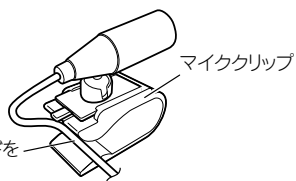
ハンズフリー通話用マイクの取り付け

■取り付け上のご注意

- ・ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。また、エコー（反響音）を軽減するため、なるべく車のスピーカーから離れた位置に設置してください。
- ・マイクコードの配線の引き回しによっては、長さが足りずサンバイザーへの取り付けができない場合があります。その場合は、配線の引き回し位置を変えて取り付けてください。

■サンバイザーにはさんで取り付ける場合

1 マイククリップの溝にマイクコードを埋め込む



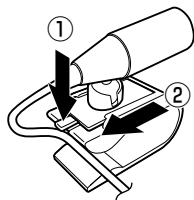
2 サンバイザーにマイククリップを挟み込み、マイクを取り付ける

サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、通話相手側へ音声が届きにくくなります。

■ステアリングポストに取り付ける場合

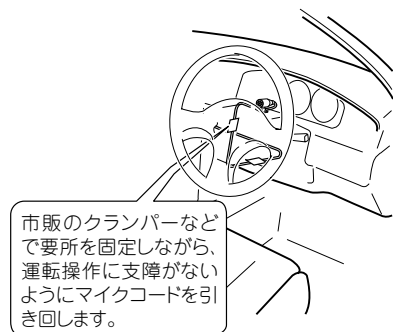
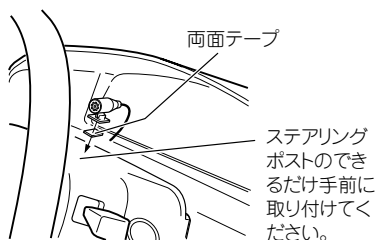
1 マイククリップを取り外す

ステアリングポストに取り付ける場合は、マイククリップを取り外します。



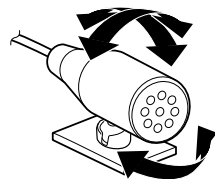
2 ステアリングポストにマイクを取り付ける

ステアリングポストに付属の両面テープで貼り付けます。



■マイク角度の調節のしかた

マイクの角度は、マイクの可動部を矢印の方向に動かして調節します。

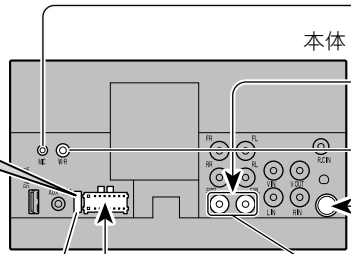


システムの接続 (1)

- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注：製品の発煙・故障を防ぐために、黒リード線を必ず最初に接続してください。



アース
車のボディの金属部に確実に接続してください。

+バッテリー電源
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

アクセサリ電源
車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

イルミ電源
車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

アンテナコントロール
アンテナをコントロールするために使用します。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)以下車両については未接続状態の場合ラジオが受信できない場合がありますので必ず接続してください。

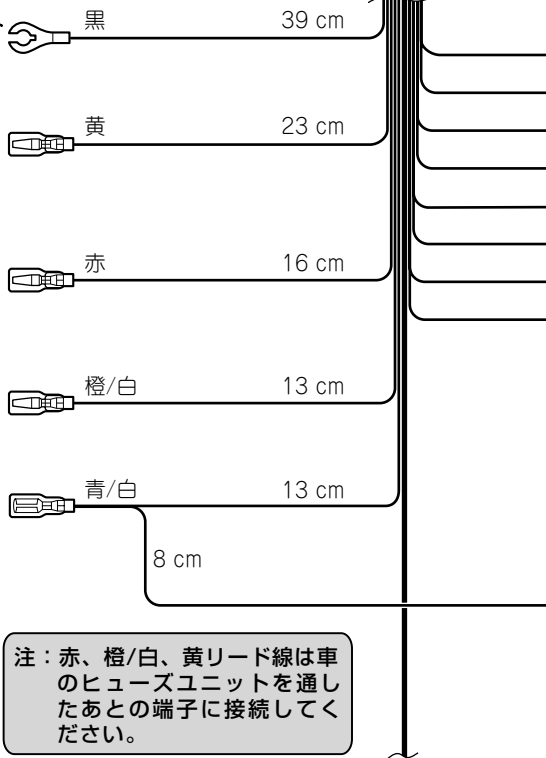
●オートアンテナ車の場合：車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。

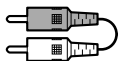
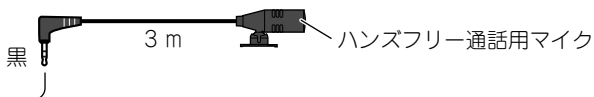
※車載のアンテナがオートアンテナの場合、ACC電源に連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。

●ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車の場合：車側のアンテナブースターの電源入力端子に接続してください。

注：赤、橙/白、黄リード線は車のヒューズユニットを通したあとの端子に接続してください。

電源コードおよび他のリード線の接続は
(→ P60、P62、P64、P65)





ステアリングリモコンアダプター/ステアリングリモコンケーブル接続端子

別売りのステアリングリモコンアダプターまたはステアリングリモコンケーブルを接続します。

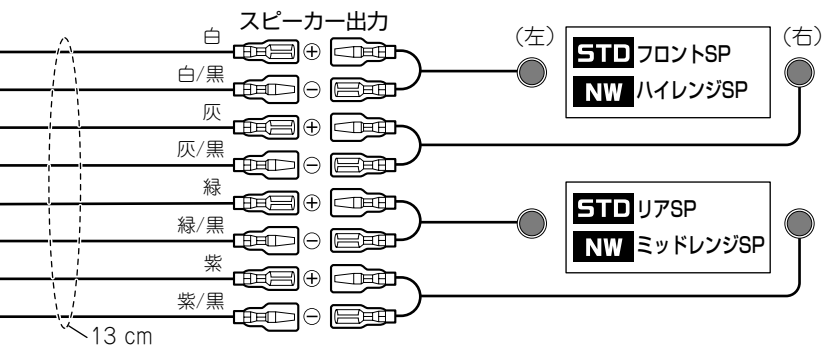
必ずステアリングリモコンの設定 (→ P48) を行って下さい。設定を行わないと動作しません。



車載ラジオ用アンテナプラグ

市販のRCAオーディオコード
(赤・白)

注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には何も接続しないでください。



システムリモートコントロール

青/白

外部アンプ (別売)

STD サブウーファー用

NW ローレンジSP用

システムリモートコントロール

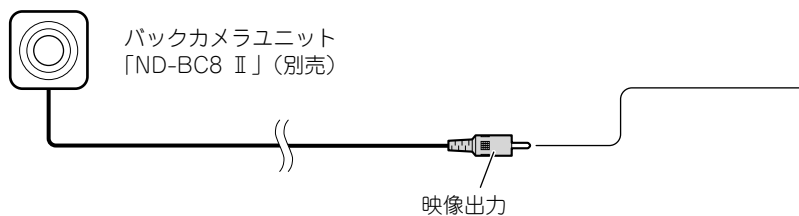
外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。(12 V DC, 300 mA以内でご使用ください。)

STD :スピーカーモード設定がスタンダードモードのとき

NW :スピーカーモード設定がネットワークモードのとき

システムの接続 (2)

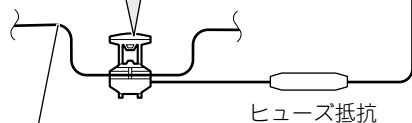
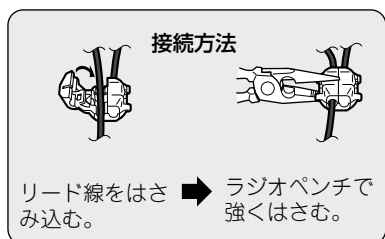
- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



バック信号入力

この接続は車の前進/後退を判断するためのものです。バックランプのリード線などの「シフトレバーをリバースの位置にしたときに電圧が変化するリード線」に接続してください。

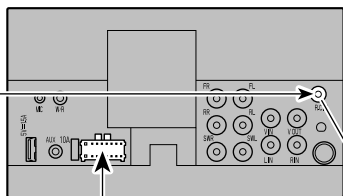
※別売のバックカメラユニットをお使いになる場合は必ず接続してください。接続しないとバックカメラ映像に切り換わりません。



紫/白 2 m

注：電源リード線の、ヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

本体



バックカメラ入力
(黄色)

電源コード

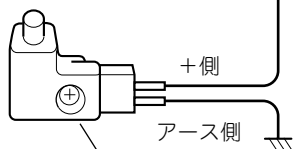
電源コードおよび他のリード線の接続は
(→ P58、P62、P64、P65)

パーキングブレーキコード

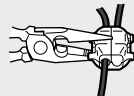
車が停車していることを確認するために使用
します。必ずパーキングブレーキスイッチの
+側リード線に接続してください。

2 m 若草色

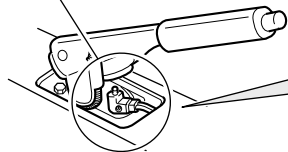
パーキングブレーキスイッチ



接続方法



パーキングブレーキ
スイッチの+側リー
ド線をはさみ込む。 → ラジオベンチで
強くはさむ。



パーキングブレーキスイッチの位置は、
車種によって異なります。詳しくはお買
い上げの販売店にご相談ください。

外部アンプの接続

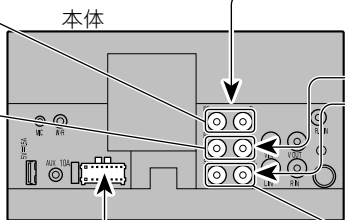
- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

フロント出力 **STD**

ハイレンジ出力 **NW**

リア出力 **STD**

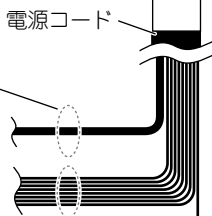
ミッドレンジ出力 **NW**



サブウーファー出力 **STD**

ローレンジ出力 **NW**

電源コードおよび
他のリード線の接続は
(→ P58、P60、
P64、P65)



スピーカーリード線
(使用しません)

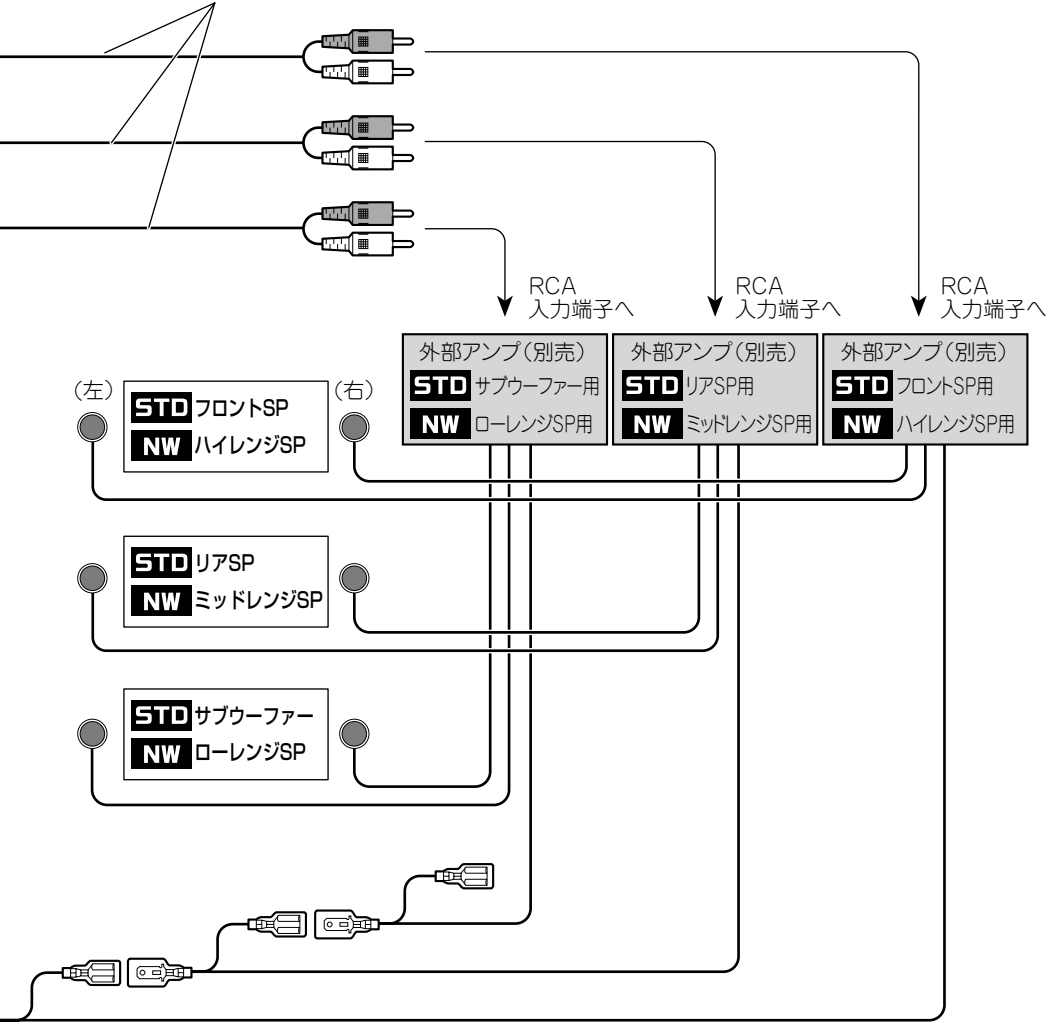
注：スピーカーを接続しないス
ピーカーリード線には何も
接続しないでください。

システムリモートコントロール

外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用
します。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)



市販のRCAオーディオコード（赤・白）



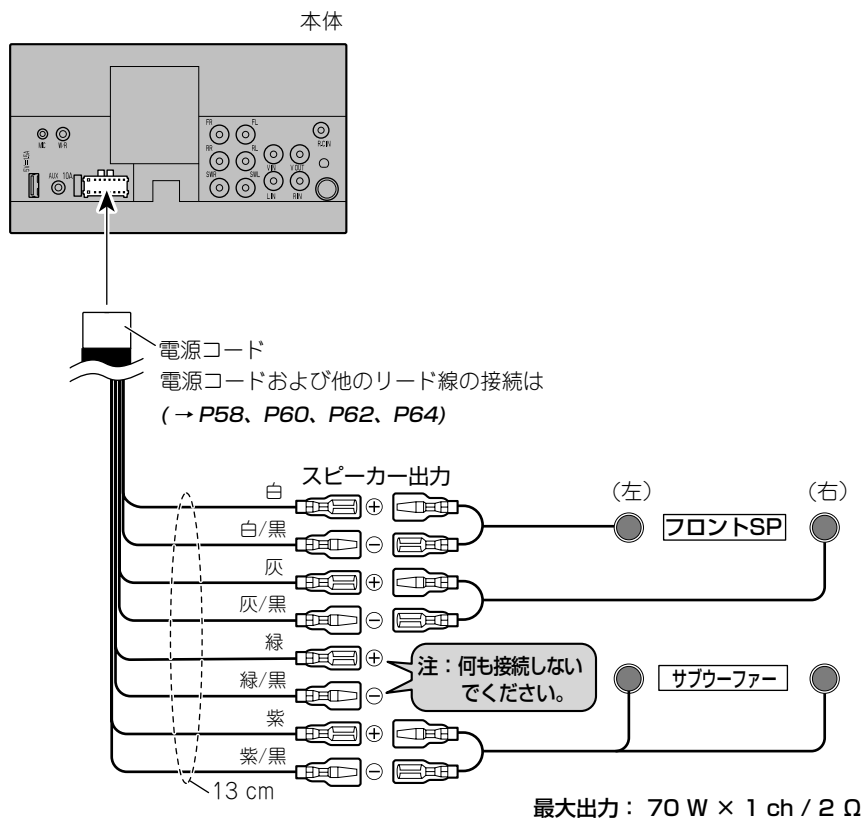
システムリモートコントロール

STD :スピーカーモード設定がスタンダードモードのとき

NW :スピーカーモード設定がネットワークモードのとき

リアスピーカー出力にサブウーファーを接続する②

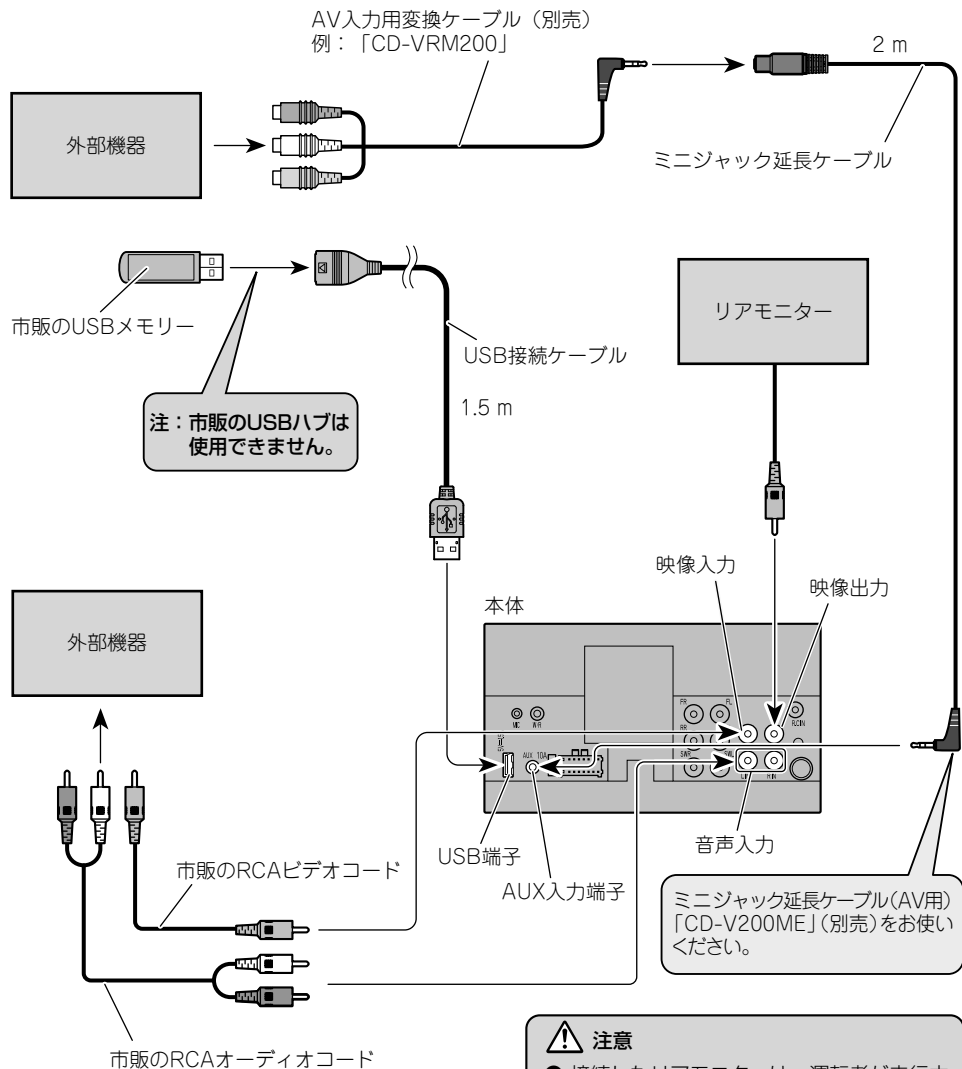
- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



- 上記の接続例は、4 Ω のサブウーファー 2 個を並列接続して 1 ch/2 Ω として使用しています。
- 本機のリアスピーカー端子にサブウーファーを接続したときは、オーディオ設定メニューのリアスピーカー出力を「サブウーファー」に設定してください (→ P44)。また、オーディオ設定メニューのサブウーファーのオン/オフの設定を「オン」に設定してください (→ P41)。

外部映像機器・リアモニターの接続

- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



⚠ 注意

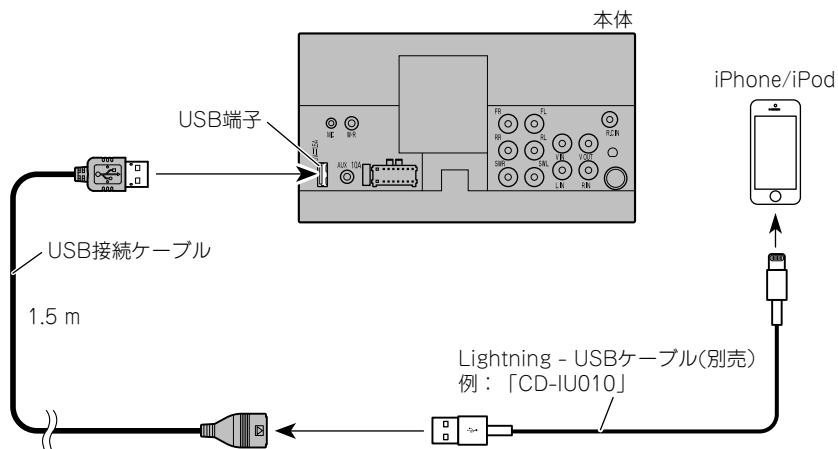
- 接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置に設置してください。
- パイオニア製以外のモニターを接続した場合は画像が乱れる場合があります。また、フロントモニターに表示される映像と画質は異なります。

✎ 本機に外部映像機器を接続したときは、システム設定メニューの「AV 入力設定」を「オン」に設定してください (→ P47)。

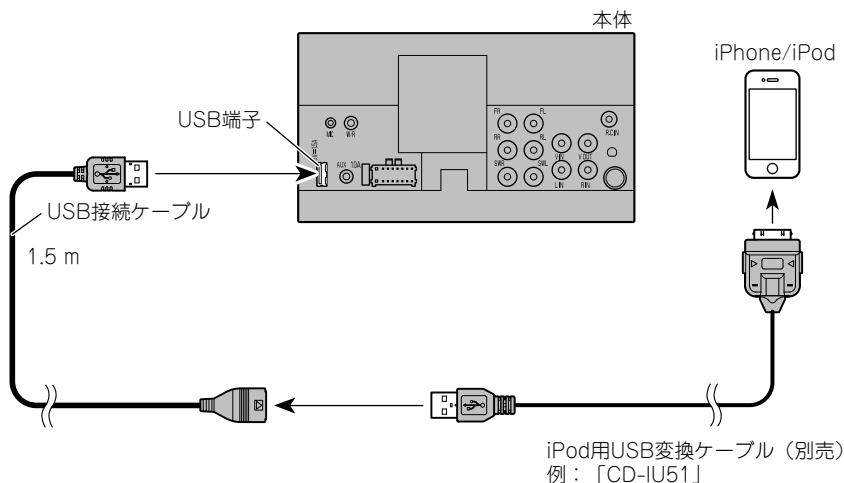
iPhone・iPod・スマートフォンの接続

- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

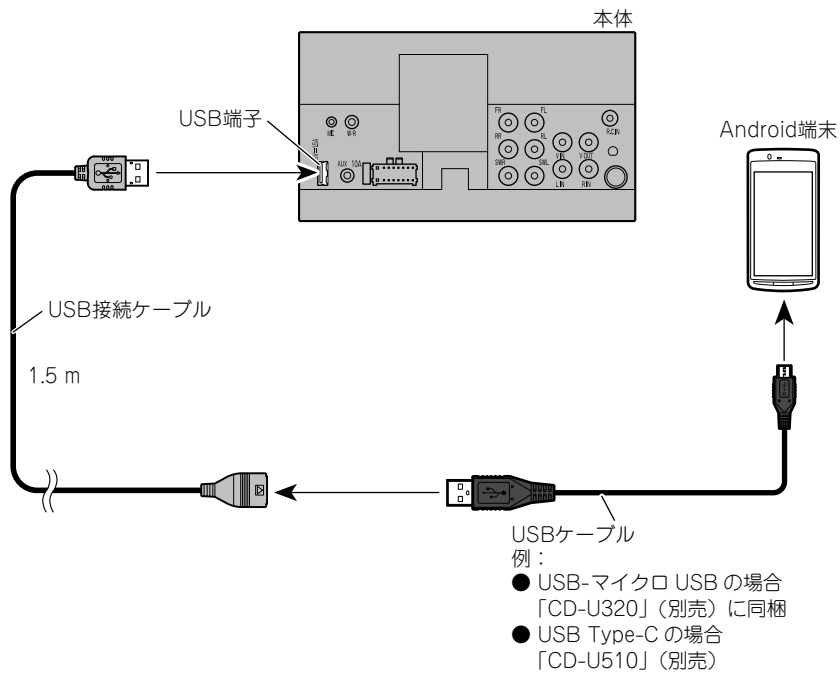
■ iPhone 7 Plus/iPhone 7/iPhone SE/iPhone 6 Plus/iPhone 6/iPhone 5s/iPhone 5c/iPhone 5/iPod (第5世代 iPod touch/ 第7世代 iPod nano) を接続する場合



■ iPhone 4s、iPod (第5世代 iPod touch/ 第7世代 iPod nanoを除く) を接続する場合



■ Android 端末を接続する場合



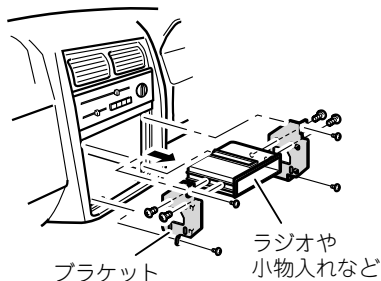
本体を取り付ける

取り付け例（トヨタ車、日産車への取り付け）です。

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを留めているブラケットを取り外します。

そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



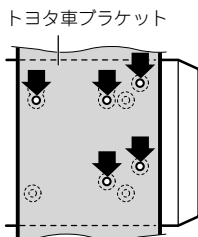
- 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2 ネジ留めする位置を確認する

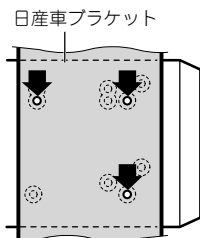
ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

トヨタ車の場合

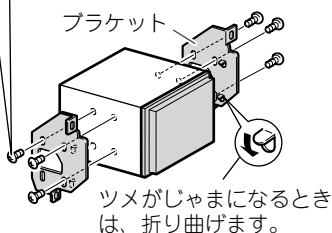
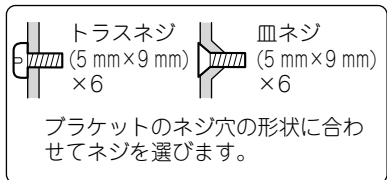


日産車の場合



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ3カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元通り車に取り付けます。



動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

- 接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

2 車のエンジンをかける

3 本機の動作を確認する

再生可能なメディアとファイルについて

本機では、次の条件に合ったファイルを再生することができます。

フォーマット	拡張子	対応メディア		
		DVD-R/-RW, CD-R/-RW	USB (MSC 接続)	USB (MTP 接続)
MP3	.mp3	○	○	○
WMA	.wma	○	○	○
WAV	.wav	×	○	×
AAC	.m4a	○	○	○
FLAC	.flac	×	○	×
JPEG	.jpg/.jpeg/.jpe	×	○	×
	.mp4/.mkv/.mov/.m4v	×	○	×
MPEG-4	.avi	○	○	×
MPEG-2	.mpg/.mpeg	○	○	×
MPEG-1	.mpg/.mpeg/.dat	○	×	×
DivX	.avi/.divx	○	○	×
H.264	.mp4/.mkv/.mov/.flv/.avi/.m4v	×	○	×
H.263	.mp4/.mov/.avi/.m4v/.3gp	×	○	×
VC-1	.wmv/.asf/.mkv	×	○	×

■ 共通

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
ファイルシステム	ISO9660 level 1 ISO9660 level 2 Romeo, Joliet UDF 1.02/1.50/ 2.00/2.01/2.50	FAT16 FAT32 NTFS
最大フォルダー数	700	1 500
最大ファイル数	999	15 000

■ MP3

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
拡張子	.mp3	
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps, VBR	
サンプリング周波数	16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/ 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz	8 kHz/16 kHz/22.05 kHz/ 24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz
ID3 タグ	Ver.1.0/1.1/2.2/2.3	Ver.1.0/1.1/2.2/2.3/2.4

■ WMA

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
拡張子	.wma	
ビットレート	5 kbps ~ 320 kbps, VBR	8 kbps ~ 320 kbps
サンプリング周波数	8 kHz/11.025 kHz/ 16 kHz/22.05 kHz/ 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz

■ WAV

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
拡張子	再生できません。	.wav
シグナルフォーマット		リニア PCM (LPCM)
量子化ビット数		8bit/16bit
サンプリング周波数		16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/ 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz

■ AAC

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
拡張子	.m4a	
ビットレート	8 ~ 320 kbps(MPEG-4)	16 ~ 320 kbps (MPEG-4)
サンプリング周波数	8 kHz/11.025 kHz/12 kHz/16 kHz/22.05 kHz/ 24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz(MPEG-4)	



・ iTunes でエンコードされた AAC ファイルを再生できます。

■ FLAC

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
拡張子	再生できません。	.flac
量子化ビット数		8bit/16bit/24bit
サンプリング周波数		8 kHz/11.025 kHz/12 kHz/ 16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/ 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz/ 88.2 kHz/96 kHz/ 176.4 kHz/192 kHz

■ JPEG

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
拡張子	再生できません。	.jpg/.jpeg/.jpe
最大解像度		8 192 × 7 680

■ MPEG-4

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
拡張子	.avi	.mp4/.mkv/.mov/.avi/.m4v
最大解像度	720 ピクセル × 576 ピクセル	1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート	30 fps	
最大ビットレート	10.08 Mbps	40 Mbps

■ MPEG-2

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
拡張子	.mpg/.mpeg	
最大解像度	720 ピクセル × 576 ピクセル	
最大フレームレート	—	30 fps
最大ビットレート	10.08 Mbps	40 Mbps

■ MPEG-1

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
拡張子	.mpg/.mpeg/.dat	再生できません。
最大解像度	352 ピクセル × 288 ピクセル	
最大ビットレート	1.5 Mbps	

■ Divx

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
拡張子		.avi/.divx
最大解像度		720 ピクセル × 576 ピクセル
最大フレームレート		30 fps
最大ビットレート	10.08 Mbps	40 Mbps

■ H.264

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
拡張子	再生できません。	.mp4/.mkv/.mov/.flv/.avi/.m4v
最大解像度		1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート		30 fps
最大ビットレート		40 Mbps

■ H.263

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
拡張子	再生できません。	.mp4/.mov/.avi/.m4v/.3gp
最大解像度		1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート		30 fps
最大ビットレート		20 Mbps

■ VC-1

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
拡張子	再生できません。	.wmv/.asf/.mkv
最大解像度		1 920 ピクセル × 1 080 ピクセル
最大フレームレート		30 fps
最大ビットレート		45 Mbps

■ PNG

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
拡張子	再生できません。	.png
最大解像度		720 ピクセル × 576 ピクセル

■ BMP

メディア	CD-R/-RW DVD-R/-RW	USB メモリー
拡張子	再生できません。	.bmp
最大解像度		1 920 ピクセル × 936 ピクセル

WMA とは？ 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver. 7 以降を使用してエンコードできます。

MP3 とは？ 「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループ（MPEG）の定めた音声圧縮の規格です。MP3 は、音声データを元のデータの約 1/10 のサイズに圧縮できます。

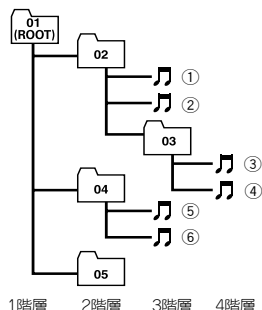
- AAC とは？** 「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
- WAV とは？** 「Waveform」の略で、Windows® での標準音声フォーマットです。
- FLAC とは？** 「Free Lossless Audio Codec」の略で、オープンソースとして開発された音声フォーマットです。MP3 や AAC と異なり、可逆圧縮であるため、音質を劣化させることなく圧縮できます。
- JPEG とは？** 「Joint Photographic Expert Group」の略で、画像圧縮技術に関する基本フォーマットです。
- DivX とは？** DivX® は、DivX, LLC が開発したデジタルビデオフォーマットです。DivX Certified® デバイスは、高画質な DivX® (.divx, .avi) 動画再生のテストを受けています。DivX のロゴは、好きな DivX の映画を自由に再生できるという安心の証です。
- MPEG とは？** 「Moving Picture Experts Group」の略で、「エムペグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVD では、この方式でデジタル音声を圧縮して記録している場合もあります。

※サンプリング周波数が 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz の MP3 ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応。

- ✎ ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ✎ ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含む音楽ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- この製品は、以下の形式には対応していません。
 - Windows Media Audio Professional (5.1ch)
 - Windows Media Audio Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio Voice
- 曲間（トラック間）にブランクがない CD を、WMA/MP3/AAC/WAV ファイルとしてディスクに記録して再生した場合、曲間が音飛びのように聞こえます。
- ID3 tag の Ver. 1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4 のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tag の Ver. 1.X と Ver. 2.X が混在している場合は、Ver. 2.X が優先されます。
- m3u のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- iTunes Store で購入された楽曲 (.m4p) は、CD-R/CD-RW または USB 機器に記録して再生できません。
- パーティションを作った USB メモリーは、再生可能な最初のパーティションだけを再生します。
- 使用する USB 機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- 本機は、次の形式には対応していません。
 - Apple ロスレス・エンコーダ
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。
- DivX Ultra と DivX plus HD format には対応していません。
- 映像データが収録されていないファイルは、DivX ファイルと認識できません。
- DivX ファイル内の構成により、特殊再生などが禁止されることがあります。
- DivX のパートナーサイト以外からダウンロードした DivX ファイルの再生は保証していません。
- 本機では、最大で 1 590 分 43 秒の DivX ファイルの表示に対応しています。
- 2 GB を超えるファイルの場合、ファイルを再生しないことがあります。

■メディア内のフォルダー構成について

- メディア内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図のようになります。(USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合は異なります。)



- 01 ~ 05 はフォルダー番号の割り当て、①~⑥は曲の再生順の例です。お客様が本機を操作してフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。

- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
 1. コンピューターで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
 2. それらのファイルをフォルダーに入れる。
 3. フォルダー単位でメディアにコピーする。
 ただしコンピューター的环境によっては、この方法で指定できない場合もあります。

- 対応した音楽ファイルを含まないフォルダーは認識しません。フォルダーの番号を表示せず、スキップします。
- 8 階層までの音楽ファイルの再生に対応しています。ただし階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字です。
- 再生できるフォルダー、ファイルの合計は以下の通りです。
 - CD-R/RW : 最大 700 フォルダー、最大 999 ファイル
 - DVD-R/RW : 最大 700 フォルダー、最大 999 ファイル
 - USB : 最大 1 500 フォルダー、最大 15 000 ファイル

■ JPEG ファイルについて

解像度が 8 192 × 7 680 までのベースライン JPEG と、EXIF2.1 に対応しています (EXIF 形式は、デジタルカメラで一般的に使用されているファイル形式です)。

- コンピューターで加工された EXIF ファイルは、再生できないことがあります。
- プログレッシブ JPEG の再生には対応していません。

■ FLAC について

Copyright © 2000-2009 Josh Coalson

Copyright © 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

• Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

• Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

• Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ディスクについて

■取り扱い上のご注意

- ディスクは、信号記録面（虹色に光っている面）を触らないように持ってください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクにシールなどを貼らないでください。
- ディスクに市販のラベルなどを貼りつけないでください。
 - ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。
 - 再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。
- ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。



• 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

■お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。


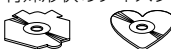

■保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。
 - 直射日光や高温など、車内での保管状況により、ディスクは再生できなくなる場合があります。
- ディスクが反らないように、必ずケースに入れて保管してください。

■ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が動き、ディスク再生が停止します。

■使用できないディスクについて





- 以下のようなディスクは使用しないでください。ディスクによっては、挿入または取出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。表紙に記載されているマークが付いたディスクをお使いください。マークは、ディスクのレーベル面やパッケージ、またはジャケットに記録されています。
 - DualDisc
 - 8 cm ディスク（アダプター装着時も含む）
 - CD 規格外ディスク
 - ひび、キズ、反りのある CD
- 特殊形状のディスク
 - 
- シールなどを貼ったディスク
 - 

■再生できないディスクについて

- 以下のようなディスクは、再生できないことがあります。
 - 音楽用 CD レコーダーまたはコンピューターで記録したディスク
 - ファイナライズされていないディスク
 - パケットライトで記録されたディスク
 - ハイビジョン画質（AVCHD/AVCREC 規格）で記録されたディスク
 - NTSC（日本のテレビ方式）以外の方式で記録された DVD
 - リージョン番号が「2」や「ALL」以外の DVD
 - レイヤージャンプレコーディング方式で記録された DVD
 - DVD-ROM/RAM ディスク
 - ISO9660 のレベル 1、レベル 2、および拡張フォーマット（Joliet, Romeo）に準拠していない CD-R/RW/ROM ディスク
 - UDF1.02～UDF2.50 および ISO9660 のレベル 1、レベル 2 に準拠していない DVD-R/RW/ROM ディスク

■DVD に表示されているマークの意味

DVD ビデオディスクのレーベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングルの数を表します。
	画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類を表します。



再生可能な地域番号（リージョン番号）を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生できます。

- DVD ビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- DVD ビデオディスクによっては、再生できない場合があります。

■ DVD-VR について

以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VR モード）で記録された DVD-R/RW ディスクの再生に対応していることを示しています。



USB 機器について

- USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーや USB メモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

■ 本機との接続について

- USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外（USB 扇風機など）は接続しないでください。
- USB 機器を本機に接続する際は、付属の USB 接続ケーブル以外は、使用しないでください。
- 接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- USB ハブを使用している接続には対応していません。

■ 保管上のご注意

- USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

iPod について

■ 本機が対応する iPod

- 本機は以下の iPod に対応しています。本機で確認済みのソフトウェアのバージョンは次のとおりです。これ以前のバージョンについては保証できません。

- iPhone 7 Plus
- iPhone 7
- iPhone SE
- iPhone 6 Plus : Ver. 8.0 以降
- iPhone 6 : Ver. 8.0 以降
- iPhone 5s : Ver. 7.0 以降
- iPhone 5c : Ver. 7.0 以降
- iPhone 5 : Ver. 7.0 以降
- iPhone 4s : Ver. 5.1.1
- 第 6 世代 iPod touch
- 第 5 世代 iPod touch : Ver. 8.0
- 第 7 世代 iPod nano : Ver. 1.0.1
- 最新の情報についてはカロッツェリアホームページ (<http://carrozzeria.jp>) でご確認ください。
- 操作方法は、iPod の世代やソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。
- iPod を接続するには、iPod 用 USB 変換ケーブル（例：「CD-IU51」）または Lightning ケーブル – USB 変換ケーブル（例：「CD-IU010」）が必要です。

- iPod は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPod は必ず固定してください。iPod が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPod の取り扱いについて詳しくは、iPod の説明書をお読みください。
- 本機と組み合わせて使用しているときに iPod のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

■ iPod の設定について

- 音質効果を最適にするために、iPod が接続されると、本機は iPod の EQ 設定を自動的にオフに変更します。取り外すと、設定は自動的に元に戻ります。
- iPod を本機に接続している場合、App モード中以外では、iPod のリピートは OFF に設定できません。また、iPod のリピートが OFF に設定されていても、本機に接続すると、自動的に「ALL」に変更されます。

液晶画面の正しい使いかた

■ 取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障するおそれがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障するおそれがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

■ 液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出る場合があります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。
- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。

■ LED バックライトについて

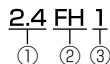
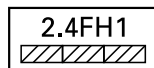
- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED 保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LED バックライトの寿命は 1 万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LED バックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ沖縄サービス認定店）にご連絡ください。

■ お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。液晶画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
 - 分解 / 改造すること。
 - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声かとざれたり聞きとりにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
 - 無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声かとざれたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声かとざれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
 - 火災報知機・ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
 - 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - 自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
 - 自動制御機器・その他、Bluetooth® 対応機器や VICS（道路交通網システム）
 - アマチュア無線局など



- 「2.4」GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- 「FH」変調方式を表します。
- 「1」想定される干渉距離（約 10 m）を表します。

言語コード

言語名 (言語コード) 入カコード

アファル語 (aa)0101 / アブハズ語 (ab)0102 / アヴェスター語 (ae)0105 / アフリカンス語 (af)0106 / アカン語 (ak)0111 / アムハラ語 (am)0113 / アラゴン語 (an)0114 / アラビア語 (ar)0118 / アッサム語 (as)0119 / アヴァール語 (av)0122 / アイマラ語 (ay)0125 / アゼルバイジャン語 (az)0126 / バシキール語 (ba)0201 / ベラルーシ語 (be)0205 / ブルガリア語 (bg)0207 / ビハール語 (bh)0208 / ビスラマ語 (bi)0209 / バンバラ語 (bm)0213 / ベンガル語 (bn)0214 / チベット語 (bo)0215 / ブルトン語 (br)0218 / ボスニア語 (bs)0219 / カタロニア語、バレンシア語 (ca)0301 / チェチェン語 (ce)0305 / チャモロ語 (ch)0308 / コルシカ語 (co)0315 / クリー語 (cr)0318 / チェコ語 (cs)0319 / 古代教会スラブ語 (cu)0321 / チュバシ語 (cv)0322 / ウェールズ語 (cy)0325 / デンマーク語 (da)0401 / ドイツ語 (de)0405 / ディベヒ語、モルジブ語 (dv)0422 / ゾンカ語 (dz)0426 / エウエ語 (ee)0505 / ギリシャ語 (el)0512 / 英語 (en)0514 / エスペラント語 (eo)0515 / スペイン語、キャステリャ語 (es)0519 / エストニア語 (et)0520 / バスク語 (eu)0521 / ペルシア語 (fa)0601 / フラ語 (ff)0606 / フィンランド語 (fi)0609 / フィジー語 (fj)0610 / フェロー語 (fo)0615 / フランス語 (fr)0618 / フリジア語 (fy)0625 / アイルランド語 (ga)0701 / ゲール語、スコットランドゲール語 (gd)0704 / ガリシア語 (gl)0712 / グアラニ語 (gn)0714 / グジャラート語 (gu)0721 / マン島語 (gv)0722 / ハウサ語 (ha)0801 / ヘブライ語 (he)0805 / ヒンディー語 (hi)0809 / ヒリ・モト語 (ho)0815 / クロアチア語 (hr)0818 / ハイチ語、ハイチクレオール語 (ht)0820 / ハンガリー語 (hu)0821 / アルメニア語 (hy)0825 / ヘレロ語 (hz)0826 / インターリングア、国際語 (ia)0901 / インドネシア語 (id)0904 / インターリング、オクツイデンタル (ie)0905 / イボ語 (ig)0907 / 四川彝語 (シセンイ語)、ロコ語 (ii)0909 / イヌピアック語 (ik)0911 / イド語 (io)0915 / アイスランド語 (is)0919 / イタリア語 (it)0920 / イヌクティトゥット語 (iu)0921 / 日本語 (ja)1001 / ジャワ語 (jv)1022 / グルジア語 (ka)1101 / コンゴ語 (kg)1107 / キクユ語 (ki)1109 / クワニャマ語 (kj)1110 / カザフ語 (kk)1111 / グリーンランド語 (kl)1112 / クメール語、カンボジア語 (km)1113 / カナダ語 (kn)1114 / 韓国語、朝鮮語 (ko)1115 / カヌリ語 (kr)1118 / カシミール語 (ks)1119 / クルド語 (ku)1121 / コミ語 (kv)1122 / コーンウォール語 (kw)1123 / キルギス語 (ky)1125 / ラテン語 (la)1201 / ルクセンブルグ語 (lb)1202 / ガンダ語 (lg)1207 / リンブルフ語、リンブルグ語 (li)1209 / リンガラ語 (ln)1214 / ラーオ語、ラオス語 (lo)1215 / リトアニア語 (lt)1220 / ルバ語、ルバカタンガ語 (lu)1221 / ラトビア語 (lv)1222 /

マダガスカル語 (mg)1307 / マーシャル語 (mh)1308 / マオリ語 (mi)1309 / マケドニア語 (mk)1311 / マラヤーラム語 (ml)1312 / モンゴル語 (mn)1314 / マラティー語 (mr)1318 / マレー語 (ms)1319 / マルタ語 (mt)1320 / ビルマ語 (my)1325 / ナウル語 (na)1401 / ブークモール・ノルウェー語 (nb)1402 / 北ンデベレ語 (nd)1404 / ネパール語 (ne)1405 / ドンガ語 (ng)1407 / オランダ語、フランドル語 (nl)1412 / ニーノシュク・ノルウェー語 (nn)1414 / ノルウェー語 (no)1415 / 南ンデベレ語 (nr)1418 / ナバホ語 (nv)1422 / チェワ語、ニャンジャ語 (ny)1425 / オック語、プロバンス語 (oc)1503 / オジブワ語 (oj)1510 / オロモ語 (om)1513 / オリヤー語 (or)1518 / オセット語 (os)1519 / パンジャブ語 (pa)1601 / パーリ語 (pi)1609 / ポーランド語 (pl)1612 / パシュトー語 (ps)1619 / ポルトガル語 (pt)1620 / ケチュア語 (qu)1721 / ロマンシュ語 (rm)1813 / ルンディ語 (rn)1814 / ルーマニア語、モルダヴィア語、モルドバ語 (ro)1815 / ロシア語 (ru)1821 / キニヤルワンダ語 (rw)1823 / サンスクリット語 (sa)1901 / サルデーニャ語 (sc)1903 / シンド語 (sd)1904 / 北サーミ語 (se)1905 / サンゴ語 (sg)1907 / シンハラ語 (si)1909 / スロバキア語 (sk)1911 / スロベニア語 (sl)1912 / サモア語 (sm)1913 / ショナ語 (sn)1914 / ソマリ語 (so)1915 / アルバニア語 (sq)1917 / セルビア語 (sr)1918 / シスワティ語 (ss)1919 / 南ソト語 (st)1920 / スンダ語 (su)1921 / スウェーデン語 (sv)1922 / スワヒリ語 (sw)1923 / タミル語 (ta)2001 / テルグ語 (te)2005 / タジク語 (tg)2007 / タイ語 (th)2008 / ティグリニャ語 (ti)2009 / トルクメン語 (tk)2011 / タガログ語 (tl)2012 / ツワナ語 (tn)2014 / トンガ語 (to)2015 / トルコ語 (tr)2018 / ツォンガ語 (ts)2019 / タタール語 (tt)2020 / トウィ語 (tw)2023 / タヒチ語 (ty)2025 / ウィグル語 (ug)2107 / ウクライナ語 (uk)2111 / ウルドゥー語 (ur)2118 / ウズベク語 (uz)2126 / ヴェンダ語 (ve)2205 / ベトナム語 (vi)2209 / ボラピュク語 (vo)2215 / フロン語 (wa)2301 / オロフ語 (wo)2315 / コーサ語 (xh)2408 / イディッシュ語 (yi)2509 / ヨルバ語 (yo)2515 / 壮語 (チワン語) (za)2601 / 中国語 (zh)2608 / ズールー語 (zu)2621

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



それでも直らないときは

「保証書とアフターサービス」(→ P85) をお読みになり、修理を依頼してください。

■ 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください(→ P58 ~ 65)。
	ヒューズが切れている。	切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください(→ P58)。
電源を入れると、バックカメラの映像が表示される。 車のシフトレバーをバックに入るとバックカメラの映像が消える。 ディスクを再生できない。	バックカメラの極性が合っていない。	システム設定の「バックカメラ極性設定」を「Low」に設定してください(→ P47)。
音が出ない。	ディスクが汚れている。	汚れをふき取ってください(→ P77)。
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。
音が出ない。	音量を下げている。	音量を調節してください(→ P9)。
	ミュートがONになっている。	ミュートを解除してください(→ P10)。
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(→ P41)。
	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください(→ P58 ~ 67)。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(→ P41)。
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(→ P41)。
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください(→ P60)。
Ⓢ (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。 ディスクの構成上対応できない操作をしている。 キー操作が無効な操作をしている。	この操作はできません。
音や映像が途切れる。	本機が確実に固定されていない。	本機を確実に固定してください。
画面が伸びる、アスペクト比が合わない。	モニターに対しての設定が正しくない。	ご使用のモニターに合った設定にしてください。
エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認しています。	正常な動作です。

■ ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、「ジージー、ザーザー」という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください(→P21)。
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください(→P21)。
	周りに障害物があるなど、受信状態がよくない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください(→P21)。
ラジオが受信できない。 FMは受信するが、AMが受信できない。	アンテナコントロールが接続されていない。	アンテナコントロールを正しく接続してください(→P58)。
受信感度が悪い。	自動車のアンテナがのびていない。	アンテナを確実に伸ばしてください。

■ DVD

症状	原因	処置
ディスクを再生できない。	本機が対応していない方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
視聴制限のメッセージが表示され、再生ができない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルを変更してください(→P38)。
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください(→P38)。
	暗証番号を忘れてしまった。	リセットボタンを押してください(→P9)。
音声(または字幕)言語が切り換えられない。	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください(→P23)。
字幕が出ない。	字幕が収録されていないDVDを再生している。	字幕が収録されていないDVDでは、字幕を表示できません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください(→P24)。
ビデオ設定メニューで選んだ音声言語、字幕言語にならない。	ビデオ設定メニューで選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	ビデオ設定メニューで選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えできません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。 映像が暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	本製品はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものもあります。これは、正常な動作です。

■ビデオ CD

症状	原因	処置
メニュー画面が表示されたまま再生できない。	PBC の付いているビデオ CD を再生している。	PBC の付いているビデオ CD は再生できません。

■CD

症状	原因	処置
CD 再生中、大きな雑音が出る。CD の再生が途中で止まる。CD が自動的に出てくる。	CD に大きなキズやそりがある。 CD が極端に汚れている。 CD にくもりや水滴がついている。 CD の裏表を逆にセットしている。	他の CD と交換してください。よくなれば CD の不良です。 CD の汚れをふき取ってください (→ P75)。 CD のくもりや水滴をふき取ってください (→ P75)。 CD のレーベル面を上にしてセットしてください (→ P15)。

■USB

症状	原因	処置
USB を認識しない。	設定が正しくない。	iPhone/iPod またはスマートフォンを設定する (→ P47) をご覧になり、[その他]→[USB/MTP] を選択してください。USB が有効になります。
WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。 対応していないビットレートで記録されている。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」、WAV ファイルに拡張子「.wav」を付けてください (→ P70)。 対応しているビットレートで記録された WMA/MP3/AAC ファイルにしてください (→ P70)。
聴きたい WMA/MP3/AAC/WAV ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」、WAV ファイルに拡張子「.wav」を付けてください (→ P70)。
ミュージックブラウザモード中のランダム再生が解除される。	エンジンスイッチを OFF するとミュージックブラウザモードは解除されます。	ミュージックブラウザモードが解除されてしまった場合は、曲のリストで [Tag] にタッチしてから曲を選ぶと再びミュージックブラウザモードになります (→ P26)。

■ iPod

症状	原因	処置
再生できない。	接続ケーブルが正しく接続されていない。	接続ケーブルを外し、iPod 画面にメインメニュー表示がされていることを確認後、もう一度接続してください (→ P67)。
	本機で対応していない iPod を使用している。	本機で対応している iPod を使用してください (→ P76)。

■ Bluetooth

症状	原因	処置
Bluetooth で接続できない。	Bluetooth 機器登録をしていない。	接続したい機器を本機に機器登録してください。
	接続する機器を変えた。	接続したい機器に切り換えてください。

こんなメッセージが表示されたら

■ 共通項目

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示される時	処置
「アンプエラー」	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。エンジンスイッチを OFF → ON してもメッセージが消えない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。

■ ディスク

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示される時	処置
リージョンコードが違います	本機と異なるリージョン番号のディスクを挿入したとき。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください (→ P75)。
Error-02-XX/FF-FF	ディスクが汚れているとき。	ディスクの汚れをふき取ってください (→ P75)。
	ディスクにキズやひびがあるとき。	ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にセットしているとき。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください (→ P15)。
	電気系、機構系の故障のとき。	車のエンジンスイッチを一度 OFF にするか、ディスクの再生を一度やめてから、もう一度再生してください。
再生できないディスクです	本機で再生できないディスクを使用しているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください (→ P75)。
	再生できるファイルが記録されていないディスクを挿入したとき。	ディスクを交換してください。
著作権保護されています	ディスク内のすべてのファイルが、著作権管理 (DRM) で保護されているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください (→ P75)。
温度異常です	本機の内部温度が高いとき。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。

スキップしました	デジタル著作権管理 (DRM) で保護された WMA ファイルを再生しているとき。	デジタル著作権管理 (DRM) で保護されていないオーディオファイルを再生してください。
再生できない解像度です	高解像度 DivX ファイルのとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。
再生できないファイルです	ファイルが本機で再生できないとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。
フォーマット読み込み中	再生操作を行ってから再生が開始するまでに時間がかかるとき。	メッセージが消え、再生が開始されるまでしばらくお待ちください。
高フレームレートは再生できません	DivX ファイルのフレームレートが、本機で対応していない 30 fps 以上のとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。
再生できない音声です	ファイルタイプが本機に対応していないとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。

■ USB 機器

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
再生出来ないファイルです	ファイルが本機で再生できないとき。 曲が入っていないとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。 オーディオファイルを USB 機器に転送し、本機に接続してください。
	セキュリティー機能付きの USB メモリーを接続したとき。	USB メモリーの説明書にしたがって、セキュリティーを解除してから使用してください。
フォーマット読み込み中	再生操作を行ってから再生が開始するまでに時間がかかるとき。	メッセージが消え、再生が開始されるまでしばらくお待ちください。
スキップしました	WMA ファイルが Windows Media DRM 9/10 で保護されているとき。	Windows Media DRM 9/10 で保護されていないオーディオファイルを再生してください。
著作権保護されています	USB 機器内のすべてのファイルが Windows Media DRM 9/10 で保護されているとき。	Windows Media DRM 9/10 で保護されていないオーディオファイルを収録・保存した USB 機器を接続してください。
再生できない USB です	接続された USB 機器が本機に対応していないとき。	USB Mass Storage Class 対応の、USB ポータブルオーディオプレーヤーや USB メモリーを接続してください。
	接続された USB 機器のフォーマットが、FAT16 か FAT32 でないと。	フォーマットが FAT16 または FAT32 の USB 機器を接続してください。
USB を確認してください	USB コネクタまたは USB ケーブルがショートしたとき。	USB コネクタまたは USB ケーブルが破損していないか確認してください。
	規定以上の電流を消費する USB 機器を接続したとき。	接続した USB 機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にしてください。次に、対応する USB 機器を接続してください。

Error-02-9X/-DX	正常に通信できないとき。	以下のいずれかの処置を行ったあと、ソースをUSBに切り換えてください。 <ul style="list-style-type: none"> 車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにする。 接続したUSB機器を一度外してから接続する。 別のソースに切り換える。
再生できない音声です	ファイルタイプが本機に対応していないとき。	本機で再生できるファイルに切り換えてください。
作成されたデータベースが無効です	データベース構築中に、ビデオメディアやJPEG画像表示に切り換えたとき。	もう一度データベースを作成してください (→ P26)。

■ iPod

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示される時	処置
フォーマット読み込み中	再生操作を行ってから再生が開始するまでに時間がかかる時。	メッセージが消え、再生が開始されるまでしばらくお待ちください。
Error-02-6X/-9X/-DX	正常に通信できないとき。	コネクターを一度外し、iPodのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクターを接続してください。それでもiPodが正常に動作しない場合は、iPodをリセットしてください。
	iPodに問題が発生したとき。	コネクターを一度外し、iPodのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクターを接続してください。それでもiPodが正常に動作しない場合は、iPodをリセットしてください。
Error-02-67	iPodのソフトウェアバージョンが古いとき。	iPodのソフトウェアバージョンをアップデートしてください (→ P76)。
停止	曲が入っていないとき。	iPodに曲を転送し、本機に接続してください。
	選んだプレイリストに曲が入っていないとき。	曲が入っているプレイリストを選んでください。
見つかりません	検索した曲が見つからないとき。	iPodに曲を転送し、本機に接続してください。

保証書とアフターサービス

■保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。

記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

■修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。(お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません（保証期間内含む）。販売店、または取付店にご相談ください。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

■ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

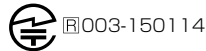
商標・著作権など

- 本製品は、電気通信事業法に基づく設計認証を取得しています。



- 本機内蔵の通信モジュールは、電波法に基づく設計認証を取得した特定無線設備（WML-C95）を使用しています。

WML-C95



本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

WMA

Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。

本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

MP3

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ

<http://www.mp3licensing.com>

をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

iTunes

iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。



iPhone、iPod、iPod nano、iPod touch、および Lightning は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。日本における iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスのもとづき使用されています。

Made for Apple マークの使用に関して、バッジ内に記してあるアップル製品に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたアクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

このアクセサリをアップル製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。



Apple CarPlay is a trademark of Apple Inc.

Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Siri

Siri はマイクを通して機能します。

DOLBY

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DivX[®]

DivX[®]、DivX Certified[®]、関連ロゴは、DivX, LLC の商標であり、使用には許可が必要です。

DVD

DVD は DVD フォーマットロゴライセンシング (株) の商標です。

Bluetooth



Bluetooth[®] ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、バイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

Android、Android Auto

Android and Android Auto are trademarks of Google Inc.

用語解説

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニターは4:3ですが、ワイドモニターは16:9の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

視聴制限（パレンタルロック）

成人向けの内容や暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクでは、本機の視聴制限レベルを設定することで、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生したりできます。

静止画ディスク

DVDには、音声や動画だけでなく、静止画が入っている場合があります。静止画ディスクには、以下の2種類があります。

スライドショー形式

ディスク自体の設定に従って自動的に静止画が切り換わります。

ブラウザブル静止画ディスク

お好みの静止画を選択して表示できます。

バケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒あたりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3 など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

プレイバックコントロール (PBC)

ビデオCD (バージョン2.0) に記録されている再生をコントロールするための信号です。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。テレビ番組などでは、数台のカメラで同時に撮影した映像のうち1つを各家庭のテレビに送っています。DVDには、同時に複数のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、視点を選べます。

マルチ音声

DVDやDivXの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります。DVDやDivXでは、音声を最大8言語 (8ストリーム) まで記録することができ、その中からお好みの言語を選べます。

マルチ字幕 (サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕です。DVDやDivXでは、1枚のディスク (1つのファイル) に複数の字幕を収録しているものがあります。DVDでは最大32言語まで、DivXでは最大8言語まで記録でき、その中からお好みの言語を選べます。

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめた単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン番号

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号 (リージョン番号) が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。

リニアPCM (LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式で、「Linear Pulse Code Modulation」の略です。音楽CDでは、44.1 kHz / 16 bit で記録されているのに対し、DVDでは、48 kHz / 16 bit ~ 96 kHz / 24 bit で記録されているため、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

EXIF

「Exchangeable Image File Format」の略です。富士フィルムが提唱した、デジタルカメラ用の画像ファイルの規格です。各社のデジタルカメラでの標準仕様として採用されています。画像データだけでなく、縮小画像 (サムネイル) や、画像についての情報、撮影日時などの付加情報を記録できます。

ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集できます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660 フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660 フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1

ファイル名は、8,3形式(名前は半角英大文字と半角数字、“.”で8文字以下、拡張子は3文字)で、各フォルダーの階層は8つ以下

レベル2

ファイル名は、最大31文字(区切り文字、“.”と拡張子を含む)で、各フォルダーの階層は8つ以下

拡張フォーマット

Joliet : ファイル名は、最大で64文字

Romeo : ファイル名は、最大で128文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子(.m3u)で、「WINAMP」などのソフトで作成したプレイリストに付きます。

VBR

「Variable Bit Rate (可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

VRモード(DVD-VR)

「Video Recording (ビデオレコーディング)」の略です。DVD-RWの基本記録方式で、録画または消去を繰り返せます。また、部分消去などの編集もできます。

仕様

■ 共通部

使用電源 : DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式 : マイナスアース方式

最大消費電流 : 10.0 A

外形寸法

(取付寸法) : 178 (W) mm × 100 (H) mm × 164 (D) mm

(ノーズ寸法) : 171 (W) mm × 97 (H) mm × 16 (D) mm

質量 : 1.8 kg (コード含まず)

■ モニター部

画面サイズ : 6.94型ワイドモニター

アスペクト比 : 16 : 9

有効表示面積 : 156.24 mm × 81.605 mm

画素数 : 1 209 600画素 (2 520 × 480)

方式 : TFT アクティブマトリクス方式

カラーシステム : PAL / NTSC / PAL-M / PAL-N / SECAM 互換

使用温度範囲 : - 20°C ~ + 80°C (電源 OFF 時)

■ アンプ / オーディオ部

最大出力 :
• 50 W × 4 ch / 4 Ω
• 50 W × 2 ch / 4 Ω + 70 W × 1 ch / 2 Ω (サブウーファァー使用時)

定格出力 : 22 W × 4 (50 Hz ~ 15 000 Hz、5 % THD、4 Ω load、Both Channels Driven)

負荷インピーダンス : 4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω (2 Ω × 1) 使用可能)

プリアウト最大出力 : 4.0 V

レベル :

イコライザー (13 バンドグラフィックイコライザー)

周波数 : 50 Hz / 80 Hz / 125 Hz / 200 Hz / 315 Hz / 500 Hz / 800 Hz / 1.25 kHz / 2 kHz / 3.15 kHz / 5 kHz / 8 kHz / 12.5 kHz

調整幅 : ± 12 dB (2 dB / Step)

< スタンダードモード >

ハイパスフィルター

周波数 : 25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz / 50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz / 160 Hz / 200 Hz / 250 Hz

スロープ : - 6 dB / oct、- 12 dB / oct、- 18 dB / oct、- 24 dB / oct、OFF

サブウーファー出力/ローパスフィルター

周波数: 25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz /
50 Hz / 63 Hz / 80 Hz /
100 Hz / 125 Hz / 160 Hz
/ 200 Hz / 250 Hz

スロープ: -6 dB / oct. / -12 dB / oct.
-18 dB / oct. / -24 dB / oct.
-30 dB / oct. / -36 dB / oct.
OFF

調整幅: +10 dB ~ -24 dB (1 dB /
Step)

位相: NORMAL / REVERSE

タイムアライメント 0 ~ 140Step (2.5 cm /
Step)

バスブースター

調整幅: +12 dB ~ 0 dB

スピーカーレベル +10 dB ~ -24 dB (1 dB /
step)

<ネットワークモード> (3 ウェイネットワーク)

High ハイパスフィルター

周波数: 1.25 kHz / 1.6 kHz / 2 kHz
/ 2.5 kHz / 3.15 kHz /
4 kHz / 5 kHz / 6.3 kHz /
8 kHz / 10 kHz / 12.5 kHz

スロープ: -6 dB / oct. / -12 dB / oct.
-18 dB / oct. / -24 dB / oct.

Mid ローパスフィルター

周波数: 1.25 kHz / 1.6 kHz / 2 kHz
/ 2.5 kHz / 3.15 kHz /
4 kHz / 5 kHz / 6.3 kHz /
8 kHz / 10 kHz / 12.5 kHz

スロープ: -6 dB / oct. / -12 dB / oct.
-18 dB / oct. / -24 dB / oct.
-30 dB / oct. / -36 dB / oct.
OFF

Mid ハイパスフィルター

周波数: 25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz /
50 Hz / 63 Hz / 80 Hz /
100 Hz / 125 Hz / 160 Hz
/ 200 Hz / 250 Hz

スロープ: -6 dB / oct. / -12 dB / oct.
-18 dB / oct. / -24 dB / oct.
OFF

サブウーファー出力

周波数: 25 Hz / 31.5 Hz / 40 Hz /
50 Hz / 63 Hz / 80 Hz /
100 Hz / 125 Hz / 160 Hz
/ 200 Hz / 250 Hz

スロープ: -12 dB / oct. / -18 dB / oct.
-24 dB / oct. / -30 dB / oct.
-36 dB / oct. / OFF

調整幅: +10 dB ~ -24 dB (1 dB /
step)

位相: NORMAL / REVERSE

タイムアライメント 0 ~ 140Step (2.5 cm /
Step)

バスブースター

調整幅: +12 dB ~ 0 dB

スピーカーレベル +10 dB ~ -24 dB (1 dB /
step)

■ DVD プレーヤー部

形式: DVD ビデオ / ビデオ CD / CD /
MP3 / WMA / AAC / DivX /
MPEG プレーヤー

使用ディスク: DVD ビデオ / ビデオ CD / CD
/ CD-R / CD-RW / DVD-R /
DVD-RW / DVD-R DL

リージョン番号: 2

信号フォーマット

サンプリング周波数: 8 kHz / 16 kHz / 32 kHz /
44.1 kHz / 48 kHz

量子化ビット数: 16 bit / 20 bit / 24 bit ; リニア

周波数特性: 5 Hz ~ 22 000 Hz (DVD, サ
ンプリング周波数 48 kHz 時)

S/N: 91 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク) (RCA レベ
ル)

出力レベル (映像): 1Vp-p / 75 Ω (± 0.2 V)

チャンネル数: 2 (ステレオ)

MP3 デコーディング MPEG-1 & MPEG-2 & MPEG-
フォーマット: 2.5 AUDIO LAYER-3

WMA デコーディング Ver. 7, 7.1, 8, 9, 9.1, 9.2,
フォーマット: (2 ch オーディオ)
(Windows Media Player)

AAC デコーディング MPEG-4 AAC (Ver. 12.5 以前
フォーマット: の iTunes でエンコードされたも
ののみ) (.m4a)

DivX デコーディング Home Theater Ver.3, 4, 5.2,
フォーマット: 6 (Ultra と HD は除く) (.avi,
.divx)

MPEG ビデオデコーディング MPEG1, MPEG2, MPEG4
フォーマット: (part2), MS-MPEG4 (ver. 3)

■ USB 部

USB 規格: USB 1.1, USB 2.0 Full Speed
USB 2.0 High Speed

最大供給電流: 1.5 A

USB クラス: MSC (Mass Storage Class),
MTP (Media Transfer Protocol)

ファイルシステム: FAT16, FAT32, NTFS

<オーディオ>

MP3 デコーディング MPEG-1 & MPEG-2 & MPEG-
フォーマット: 2.5 AUDIO LAYER-3

WMA デコーディング Ver. 7, 7.1, 8, 9, 10, 11,
フォーマット: 12 (2 ch オーディオ)
(Windows Media Player)

AAC デコーディング MPEG-4 AAC (Ver. 12.5 以前
フォーマット: の iTunes でエンコードされたも
ののみ)

FLAC デコーディング Ver. 1.3.0 (Free Lossless
フォーマット: Audio Codec)

WAV (MSC モードのみ)

WAV シグナル
フォーマット: Linear PCM

サンプリング周波数: Linear PCM :
16 kHz / 22.05 kHz /
24 kHz / 32 kHz /
44.1 kHz / 48 kHz

JPEG (MSC モードのみ)

JPEG デコーディング
フォーマット: .jpeg, .jpg, .jpe
ピクセルサンプリング: 4:2:2, 4:2:0
デコードサイズ: 最大: 8 192 (H) × 7 680 (W)
最小: 32 (H) × 32 (W)

PNG デコーディング
フォーマット (MSC
モードのみ): .png
デコードサイズ: 最大: 720 (H) × 576 (W)
最小: 32 (H) × 32 (W)

BMP デコーディング
フォーマット (MSC
モードのみ): .bmp
デコードサイズ: 最大: 1 920 (H) × 936 (W)
最小: 32 (H) × 32 (W)

< ビデオ >

H.264 ビデオデコーディング
フォーマット: BaseLine Profile, MainProfile, HighProfile

H.263 ビデオデコーディング
フォーマット: BaselineProfile 0/3

VC-1 ビデオデコーディング
フォーマット: SimpleProfile, MainProfile, AdvancedProfile

DivX: Home theater

MPEG-4 ビデオデコーディング
フォーマット: SimpleProfile, Advanced SimpleProfile

MPEG2 ビデオデコーディング
フォーマット: MainProfile

■ FM チューナー部

受信周波数帯域: 76.0 MHz ~ 99.0 MHz
実用感度: 12 dBf (1.1 μ V / 75 Ω , モノラル,
S/N: 30 dB)
S/N: 72 dB (IHF-A ネットワーク)

■ AM チューナー部

受信周波数帯域: 522 kHz ~ 1 629 kHz (9 kHz)
実用感度: 28 μ V (S/N: 20 dB)
S/N: 62 dB (IHF-A ネットワーク)

■ Bluetooth 部

Bluetooth バージョン: Bluetooth 4.1 certified
出力: 最大 +4 dBm (Power class2)
周波数帯域: 2 400 MHz ~ 2 483.5 MHz

■ 付属品

コードユニット: 1 式
取付ネジ類: 1 式
USB 接続ケーブル: 1
ハンズフリー通話用
マイク: 1
リモコン: 1
リチウム電池
(CR2025): 1
取扱説明書: 1
保証書: 1



- 本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載しているイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

[0120]で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご利用になれません。

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 《カーオーディオ／カーナビゲーション商品》

【固定電話から】 **0120-944-111**(無料)

【携帯電話・PHSから】 **0570-037-600**(ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7540(IP電話・有料)

■ファックス

0570-037-602(ナビダイヤル・有料)

■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 【固定電話から】 **0120-5-81028**(無料)

【携帯電話・PHSから】 **0570-037-610**(ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7550(IP電話・有料)

■ファックス

0120-5-81029(無料)

■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/purpose/repair/>

※インターネットによる修理のお申し込みを受け付けております。

部品のご購入についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

●部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 【固定電話から】 **0120-5-81095**(無料)

【携帯電話・PHSから】 **0570-057-140**(ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7551(IP電話・有料)

■ファックス

0120-5-81096(無料)

■インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/purpose/parts/flow/>

※FAXでご注文の際は上記ホームページの付属品購入の流れを参照のうえ、付属品注文票をダウンロードしてご利用ください。

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.03

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2018

< CRA5080-D >